

丹波市食育推進計画（第3次） 中間評価報告書

令和5年3月
丹波市

目 次

1	丹波市食育推進計画（第3次）中間評価にあたって	1
2	中間評価結果一覧	3
3	取り組みの柱別中間評価と取組実績	4
4	コロナ禍の食の状況	13
5	まとめ	14
6	「丹波市食育推進計画（第3次）」指標と目標値一覧	15

○資料編

- ・丹波市健康づくり推進協議会委員名簿
- ・丹波市食育アンケート結果
- ・施策の取り組み状況調査

1 丹波市食育推進計画（第3次）中間評価にあたって

丹波市においては、平成19年12月に丹波市食育推進計画、平成25年3月に丹波市食育推進計画（第2次）、平成30年3月に丹波市食育推進計画（第3次）を策定し、食育を推進してきました。「市民一人ひとりが生涯健康ですこやかに暮らす」を基本理念に、次の3つの取り組みの柱を掲げ、関係機関・団体と連携しながら食育を推進する活動を展開しています。

1. 生涯にわたる

健全な食生活の実践

- ・（1）食を通じた子どもの健全育成
- ・（2）健康寿命の延伸を目指した食の健康づくり

2. 丹波の恵みを活かした

食文化の継承・地産地消の推進

- ・（1）地産地消の推進
- ・（2）食と「農」への理解促進
- ・（3）食文化の継承

3. 丹波市の「食育」を支える

ひと・まちづくり

- ・（1）食育推進の機運づくり・食育に関する情報発信
- ・（2）関係機関等との連携・協働による食育推進体制の充実

平成30年度から令和7年度までの8年間を計画期間とする中、中間年（令和4年度）の目標値の達成度、取り組みの進捗状況を評価し、社会情勢の変化、他の関連する計画との整合を図りながら、期間後半の食育の取り組みの方向性を確認することを目的に中間評価を行います。

■中間評価の方法

- （1）丹波市食育アンケート
- （2）期間前半における市の施策の取り組み状況調査
- （3）既存事業のデータ、教室等で実施したアンケート結果

（1）～（3）の結果から、取り組みの柱ごとの評価と今後の取り組みを検討

判定基準	
A	目標達成
B	目標は達成していないが改善傾向
C	変化なし又は前回調査より悪化

■丹波市食育アンケート実施概要

(1) 調査方法

	成人	就学前	小学生・中学生	高校生
調査対象	市内在住・在勤の 69 歳まで	市内の 5 歳児の保護者	市内の小学 5 年生 市内の中学 2 年生	市内の高校 1 年生
調査方法	A: 巡回健診受診者への郵送による配布及び受診時回収 B: 乳幼児健診対象の保護者へ郵送による配布及び受診時回収/スマートフォンからアンケートフォームへ回答 C: LINE 等で市民アンケート実施を周知しスマートフォンからアンケートフォームへ回答	市内認定こども園を通じて保護者へアンケートを依頼し、スマートフォンからアンケートフォームへ回答	学校を通じて実施依頼し、児童・生徒がタブレットからアンケートフォームへ回答	学校を通じて配布・回収
調査期間	A: 9 月～10 月 B: 9 月～11 月 C: 11 月 1 日～14 日	9 月 20 日～30 日	9 月 20 日～30 日	9 月～10 月

(2) 回収結果

	成人	就学前	小学生・中学生	高校生
有効回収数	1,015 人	192 人	小学生 384 人 中学生 265 人	282 人

※留意点 アンケート集計において、小数点第 2 位で四捨五入しているため、100%と一致しない場合があります。

2 中間評価結果一覧

A 目標達成	7 指標
B 目標は達成していないが改善傾向	10 指標
C 変化なし又は前回調査より悪化	12 指標
判定不能	1 指標

取り組みの柱	第3次計画						出典
	指 標	2016(H28)	2022 (R4) 中間実績値	2025 (R7) 目標	推進状況		
① 生涯にわたる健全な食生活の実践	毎日朝食を食べる人の割合の増加	(20歳代 男性)	52.2%	65.2%	60%	A	丹波市食育アンケート
		(20歳代 女性)	62.6%	53.4%	70%	C	
		(30歳代 男性)	72.0%	64.5%	80%	C	
		(30歳代 女性)	79.0%	82.8%	90%	B	
		(高校生)	73.0%	76.6%	90%	B	
		(中学生2年生)	75.3%	83.4%	100%	B	
		(小学生5年生)	86.6%	90.1%	100%	B	
		(就学前)	94.9%	95.3%	100%	B	
	野菜の摂取量の増加						健康課調べ
	・朝食に野菜を食べる割合の増加	(3歳児)	30.9%	31.4%*1	35%	B	
	主食、主菜、副菜をそろえた食事を1日2回以上ほぼ毎日食べている人の増加	(20歳代)	32.9%	33.3%	36%	B	丹波市食育アンケート
		(30歳代)	41.9%	44.7%	46%	B	
		(40歳代)	50.3%	42.2%	55%	C	
		(50歳代)	55.7%	48.7%	61%	C	
		(60歳以上)	57.4%	53.9%	66%	C	
	適正体重を達成、維持している人の割合の増加	(成人)	32.1%	30.1%	43%	C	丹波市食育アンケート
	塩分をとり過ぎないように気をつけ、実践している人の割合の増加	(男性)	56.9%	44.3%	62%	C	丹波市食育アンケート
		(女性)	75.4%	67.2%	81%	C	
	ゆっくりよく噛んで食べている人の割合の増加	(成人)	39.5%	41.1%	43%	B	丹波市食育アンケート
	食事のあいさつ（いただきます・ごちそうさま）ができる人の割合の増加	(中学生)	46.4%	71.3%	51%	A	丹波市食育アンケート
		(小学生)	61.6%	67.2%	67%	A	
		(就学前)	57.6%	53.6%	63%	C	
② 丹波の恵みを活かした食文化の継承・地産地消の推進	学校給食の地場野菜使用割合の増加（重量ベース）		21.5%	判定不能	36%	判定不能	教育総務課調べ
	地域の郷土料理を知っている人、作ることができる人の割合の増加						丹波市食育アンケート
	・知っている人の割合	(成人)	44.3%	69.2%	53%	A	
	・作ることができる人の割合	(成人)	14.0%	28.3%	20%	A	
	地元でとれる農産物を食べる人の割合の増加	(成人)	55.9%	51.2%	61%	C	丹波市食育アンケート
	丹波市産農産物の生産の増加	(丹波栗)	103.06ha	105.34ha	123ha	B	農林振興課調べ
		(黒大豆(枝豆含む))	120.01ha	172.13ha	159ha	A	
③ 丹波の「食育」を支えること・まちづくり	食育に関心がある人の割合の増加	(成人)	34.4%	30.5%	50%	C	丹波市食育アンケート
	食育に関することで実践していることがある人の割合の増加	(成人)	65.3%	53.8%	75%	C	丹波市食育アンケート
	地域と連携した食育活動に取り組む組織、団体の増加		5団体	20団体	15団体	A	健康課調べ

※中間実績値*1は、令和3年度の実績値

3 取り組みの柱別中間評価と取組実績

取り組みの柱1. 生涯にわたる健全な食生活の実践

取り組みの柱	第3次計画						出典
	指 標		2016(H28)	2022 (R4) 中間実績値	2025 (R7) 目標	達成状況	
① 生涯にわたる健全な食生活の実践	毎日朝食を食べる人の割合の増加	(20歳代 男性)	52.2%	65.2%	60%	A	丹波市食育アンケート
		(20歳代 女性)	62.6%	53.4%	70%	C	
		(30歳代 男性)	72.0%	64.5%	80%	C	
		(30歳代 女性)	79.0%	82.8%	90%	B	
		(高校生)	73.0%	76.6%	90%	B	
		(中学生2年生)	75.3%	83.4%	100%	B	
		(小学生5年生)	86.6%	90.1%	100%	B	
		(就学前)	94.9%	95.3%	100%	B	
	野菜の摂取量の増加						健康課調べ
	・朝食に野菜を食べる割合の増加	(3歳児)	30.9%	31.4%*1	35%	B	
	主食、主菜、副菜をそろえた食事を1日2回以上ほぼ毎日食べている人の増加	(20歳代)	32.9%	33.3%	36%	B	丹波市食育アンケート
		(30歳代)	41.9%	44.7%	46%	B	
		(40歳代)	50.3%	42.2%	55%	C	
		(50歳代)	55.7%	48.7%	61%	C	
		(60歳以上)	57.4%	53.9%	66%	C	
	適正体重を達成、維持している人の割合の増加	(成人)	32.1%	30.1%	43%	C	丹波市食育アンケート
	塩分をとり過ぎないように気をつけ、実践している人の割合の増加	(男性)	56.9%	44.3%	62%	C	丹波市食育アンケート
		(女性)	75.4%	67.2%	81%	C	
	ゆっくりよく噛んで食べている人の割合の増加	(成人)	39.5%	41.1%	43%	B	丹波市食育アンケート
	食事のあいさつ（いただきます・ごちそうさま）ができる人の割合の増加	(中学生)	46.4%	71.3%	51%	A	丹波市食育アンケート
		(小学生)	61.1%	67.2%	67%	A	
		(就学前)	57.6%	53.6%	63%	C	

A 目標達成 B 目標は達成していないが改善傾向 C 変化なし又は前回調査より悪化

※中間実績値*1は、令和3年度の実績値

指標の達成状況

○毎日朝食を食べる人の割合の増加

- ・就学前から高校生まで、目標値は達成していないもののそれぞれ増加。
- ・成人（若い世代）において、30歳代女性で「毎日食べる」割合が増加し、20歳代男性では目標値に達したが、20歳代女性と30歳代男性では前回調査より減少。

○野菜の摂取量の増加

- ・「朝食に野菜を食べる」割合（3歳児）は、0.5ポイントの増加。

○主食、主菜、副菜をそろえた食事を1日2回以上ほぼ毎日食べている人の増加

- ・20歳代、30歳代では「毎日食べている人」の割合が増加したが、40歳代以上は減少。

○適正体重を達成、維持している人の割合の増加

・「自分の適正体重を知っていて、達成している人」の割合は2.0ポイント減少。

○塩分をとり過ぎないように気をつけ、実践している人の割合の増加

・男女とも「塩分をとり過ぎないように気をつけ、実践している人」の割合が減少。

○ゆっくりよく噛んで食べている人の割合の増加

・「ゆっくりよく噛んで食べている人」の割合は1.6ポイント増加。

○食事のあいさつができる人の割合の増加

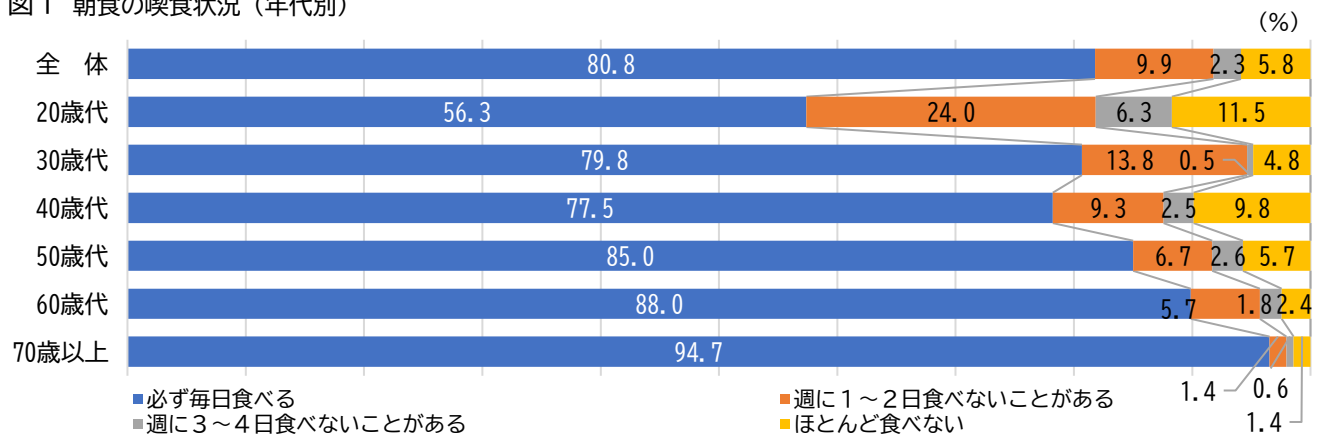
・「食事のあいさつ（いただきます・ごちそうさま）ができる」小・中学生の割合は増加し目標値を達成したが、就学前児では4ポイント減少。

⇒ 子どもの年代における指標の多くの数値が改善傾向にあります。

一方、成人における指標では前回調査より悪化している項目が多く見られます。

【関連データ】

図1 朝食の喫食状況（年代別）



出典：R4丹波市食育アンケート

図2 朝食で食べない日があっても他の食事で補えばよいと思う (%)

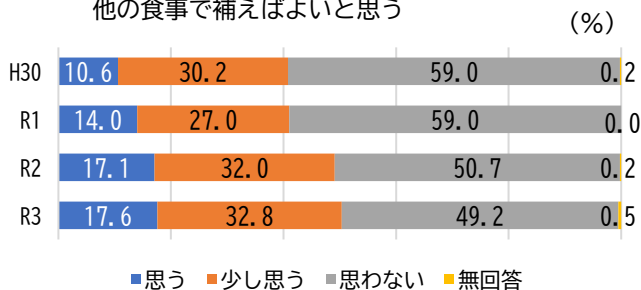
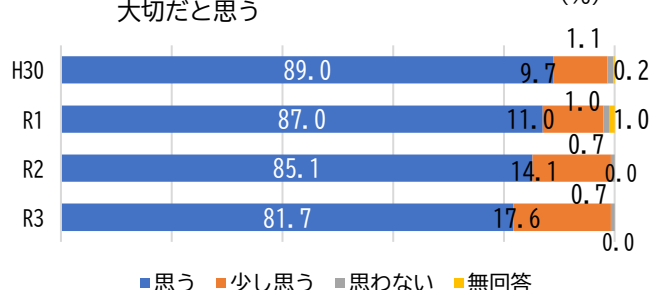


図3 主食・主菜・副菜がそろった食事は大切だと思う (%)



出典：3歳児健診保護者対象食生活アンケート

図4 主食、主菜、副菜をそろえた食事を
1日2回以上ほぼ毎日食べている人の割合

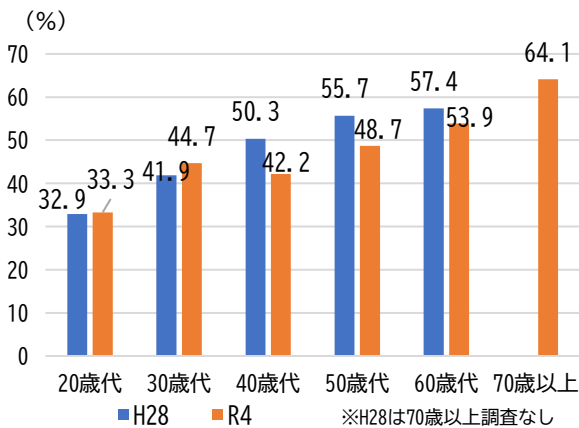


図5 年代別適正体重の認知度と実際の体格

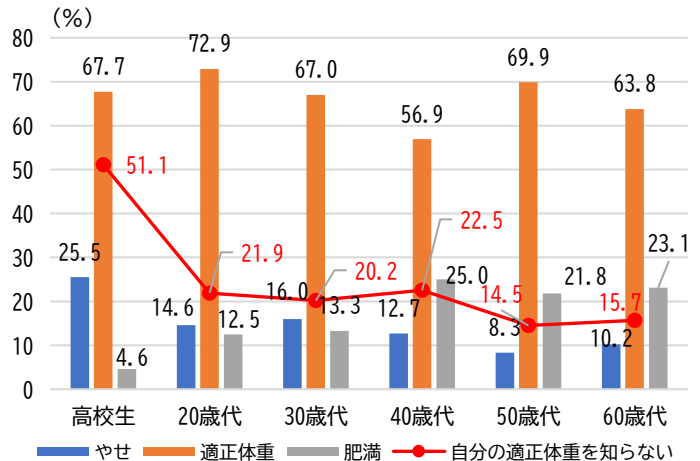
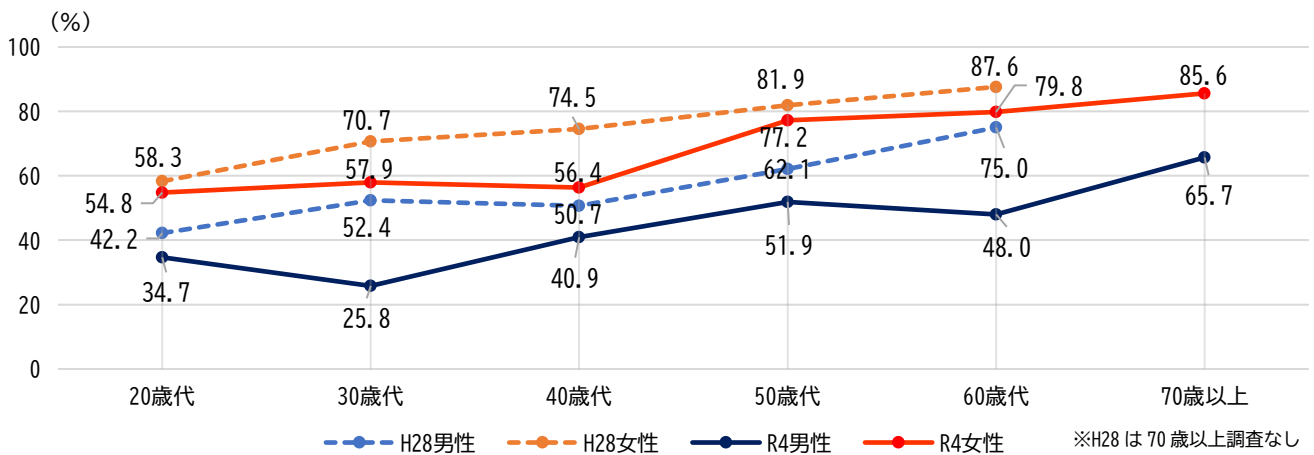


図6 年代別 塩分をとり過ぎないように気を付け実践している割合



出典：R4丹波市食育アンケート

取り組み状況と今後の取り組み

食を通じた子どもの健全育成

- ・乳幼児期から基本的な食習慣を身に付け、生涯にわたって健全な食生活が実践できるよう、個別指導や健康教室、食育体験の場を通じて「早起き・おひさま・朝ごはん」を推進してきました。
- ・認定こども園や学校においては日々の給食やその食材を通じて、健康づくりの知識や食事マナー、食べることの楽しさや大切さが学べるよう工夫を凝らしています。
- ・教科の中で食育に関する内容や教材を位置づけた「ちょこっと食育」授業を実施するなど食育の学びを深めています。
- ・地域や食育ボランティアと連携した、子どもが食育体験をする機会が増えてきており、小学校・中学校・高校と途切れない食体験の場を提供しています。
- ・新型コロナウイルス感染症の拡大により、調理を伴った食育活動や給食参観等の啓発の機会を中止せざるを得ない期間が生まれました。このため、認定こども園では保護者等に給食の様子をネット配信されたり、また園や学校ではホームページ、SNSを活用するなど新たな情報発信を取り

入れ、家庭への食育発信に努められています。

子どもの健やかな発育・発達に合わせた食育、認定こども園や学校における食育が推進され、多くの指標の数値が改善傾向にあります。目標値達成に向けて引き続き積極的な取り組みを行います。一方、子育て世代の年代で朝食の欠食率が依然高く（図1）、3歳児の保護者アンケート結果では、「朝食を食べない日があっても他の食事で補えばよいと思う人の割合」が増加（図2）、「主食・主菜・副菜がそろった食事が大切だと思う人の割合」に減少（図3）がみられるなど、食事に対する意識や価値観に変化が生じています。ライフスタイルの多様化、就業している保護者が増加し食事づくりに時間かけられない現状もありますが、保護者の食習慣や意識が子どもの食環境へ影響すると考えられるため、成長段階にある子どもの食事の重要性を伝えるとともに、保護者自身がより良い食行動ができるよう、子どもの食育の場を通して、引き続き大人の健康づくりの啓発を行います。

■健康寿命の延伸を目指した食の健康づくりの推進

- ・次世代を担う（若い）世代への食育では、高校生食育講座を開催したり、乳幼児健診や食育教室を通じて保護者への食の啓発を実施しています。
- ・働き盛りの世代へは、健康教室、健診後の保健指導や広報を活用して食事バランスや減塩について啓発を行うなど、生活習慣病の発症・重症化予防や改善に向けて取り組んでいます。
- ・節目歯周疾患検診の実施や歯や口腔の健康について啓発を行っています。
- ・元気に高齢期を迎えられるよう出前健康教室等で低栄養予防に取り組んでいます。

適正体重を達成、維持している人の割合（成人）は減少、バランスのよい食事の基本である、主食・主菜・副菜をそろえた食事を食べている人の割合では、40歳代以上の年代で前回調査より食べている割合が減少（図4）しています。

高校生では4人に1人がやせの判定で、他の年代に比べて高い割合（図5）です。また、食育アンケートで女子高生の60.1%が今より痩せたいと思うと回答されており、減量の必要のない方でも今より体重を減らしたいと考えています。体をつくる大事な年代であり、近い将来親になる世代でもある若い女性のやせは妊娠・出産における問題を引き起こす可能性が高いため、適正体重を知ること、望ましい体重管理や健康的な食生活の実践力の向上が図れるよう、働きかけが必要です。

男女ともに塩分をとり過ぎないように気を付け、実践している割合は、前回調査より全ての年代で減少（図6）しています。減塩は血圧を低下させ、循環器疾患を減少させると考えられることから、引き続き、減塩や野菜の摂取量の増加といった健康的な食生活の普及や啓発に努めます。

また、特定健診の受診率の向上を図り適切な保健指導により、今より健康的な食生活が実践できる市民が増えるよう取り組んでいます。

健康で長生きするには、美味しく食べることができるよう口腔機能が維持されることが重要です。健康教室や広報で歯科定期健診の重要性を啓発し、お口の健康づくりを通じた食育を推進します。

高齢者では新型コロナウイルス感染防止対策が強化されている期間、集いの場や共食の機会、高齢者食生活改善教室の実施が減少している状況にありました。感染予防に十分配慮しながら、フレイル予防の視点も加えた食育活動を実施していきます。

取り組みの柱2. 丹波の恵みを活かした食文化の継承・地産地消の推進

取り組みの柱	第3次計画						出典
	指 標		2016(H28)	2022 (R4) 中間実績値	2025 (R7) 目標	推進状況	
② 丹波の恵みを活かした食文化の継承・地産地消の推進	学校給食の地場野菜使用割合の増加 〈重量ベース〉		21.5%	判定不能	36%	判定不能	教育総務課 調べ
	地域の郷土料理を知っている人、 作ることができる人の割合の増加						丹波市食育 アンケート
	・知っている人の割合	(成人)	44.3%	69.2%	53%	A	
	・作ることができる人の割合	(成人)	14.0%	28.3%	20%	A	
	地元でとれる農産物を食べる人の 割合の増加	(成人)	55.9%	51.2%	61%	C	丹波市食育 アンケート
	丹波市産農産物の生産の増加	(丹波栗) (黒大豆(枝豆含む))	103.06ha 120.01ha	105.34ha 172.13ha	123ha 159ha	B A	農林振興課 調べ

A 目標達成 B 目標は達成していないが改善傾向 C 変化なし又は前回調査より悪化

指標の達成状況

○学校給食の地場野菜使用割合の増加〈重量ベース〉

- ・丹波市教育振興基本計画の指標と目標値を引用。令和2年4月に第2次計画が策定され、前回調査時の重量ベースの指標が、〈主要15品目〉の使用割合に変更されたため比較できず、判定不能。

○郷土料理を知っている人、作ることができる人の割合の増加

- ・「知っている人」の割合、「作ることができる人」の割合は増加し目標値を達成。

○地元でとれる農産物を食べる人の割合の増加

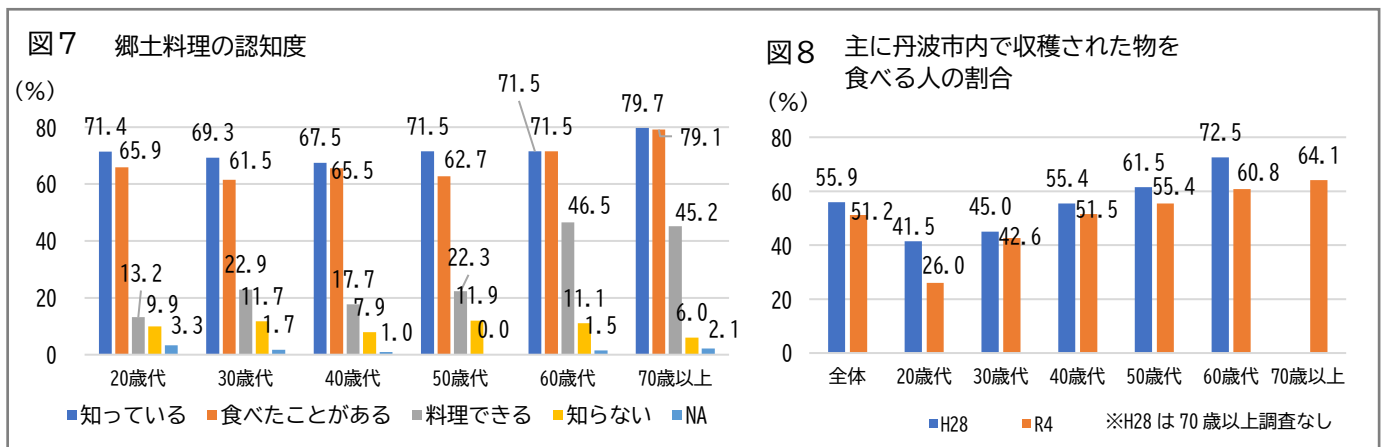
- ・「地元でとれる農産物を食べる人」の割合は4.7ポイント減少。

○丹波市産農産物の生産の増加

- ・「丹波市産農産物の生産」は増加がみられ、黒大豆（枝豆含む）は目標値を達成。

⇒ 郷土料理を知っている人、作ることができる人の割合はともに増加し目標値に達成し、食文化の伝承が進められましたが、地産地消に係る指標については数値の減少がみられました。

【関連データ】



取り組み状況と今後の取り組み

■地産地消の推進

- ・楽農生活の推進、直売施設等への支援により、「丹波ファン」の創出や地産地消を推進しています。市民に向けては日本型食生活の推進を行うことで、米や野菜等地元の食材を使用した食生活を促進しました。
- ・認定こども園や学校給食において地場産農産物を活用した豊かな味覚を育む給食づくりを推進しています。

■食と「農」への理解促進

- ・認定こども園で自然と触れ合う体験や、園庭や近隣の農園を活用した生産収穫体験を実施しています。
- ・未就園児においても、子育てグループでの生産収穫体験等の活動が実施できるよう支援しています。
- ・コロナ禍で一部実施内容を縮小するなど感染対策を徹底し、令和3年度は市内小中学校の96.5%において栽培収穫体験による食育活動を実施することができました。

■食文化の継承

- ・子育て世代を対象に旬の食材を使った料理や行事食、伝統食を学ぶ教室を実施するなど、家庭の味、食文化を伝える取り組みを行いました。
- ・丹波市の特産物である「丹波大納言小豆」に親しむ活動を拡充しています。令和3年度からは、これまでの学校給食に加え、認定こども園の給食においても丹波大納言小豆を使用し、味わう体験を支援しています。
- ・園や学校を通して子どもたちに向けての丹波市ならではの食材に触れ、食する取り組みに広がりが見られます。
- ・丹波市の食資源を市外に広く伝える活動を展開していますが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により令和2年度にはイベント型での活動は中止し、プロモーション動画の作成やInstagramによるフォトコンテストを開催するなど、SNSの活用による情報発信を始めました。

上記の取り組みを展開し、地域の郷土料理を知っている人、作ることができる人の割合は共に増加し、目標値を達成しました。一方、地元でとれる農産物を食べる人の割合の増加では、前回調査値よりも減少しました。前回調査でも「値段と相談しながら購入する」の割合が高かったことから、社会情勢にも左右されると考えられますが、豊かな丹波市産の食材がより身近に活用されるよう引き続き、取り組みを進めていきます。

取り組みの柱3. 丹波市の「食育」を支えるひと・まちづくり

取り組みの柱	第3次計画						出典
	指標		2016(H28)	2022 (R4) 中間実績値	2025 (R7) 目標	推進状況	
③ 丹波の「食育」を支えるひと・まちづくり	食育に関心がある人の割合の増加	(成人)	34.4%	30.5%	50%	C	丹波市食育アンケート
	食育に関することで実践していることがある人の割合の増加	(成人)	65.3%	53.8%	75%	C	丹波市食育アンケート
	地域と連携した食育活動に取り組む組織、団体の増加		5団体	20団体	15団体	A	健康課調べ

A 目標達成 B 目標は達成していないが改善傾向 C 変化なし又は前回調査より悪化

指標の達成状況

○食育に関心がある人の割合の増加

- ・「食育に関心がある人」の割合は 3.9 ポイント減少。

○食育に関することで実践していることがある人の割合の増加

- ・「食育に関することで実践していることがある人」の割合は 11.5 ポイント減少。

○地域と連携した食育活動に取り組む組織、団体の増加

- ・「地域と連携した食育活動に取り組む組織、団体」は増加し、目標値を達成。

⇒ 成人（全体）では、「食育に関心がある人」の割合、「食育に関することで実践していることがある人」の割合が減少しています。

【関連データ】

図9 年代別食育関心度（関心がある）

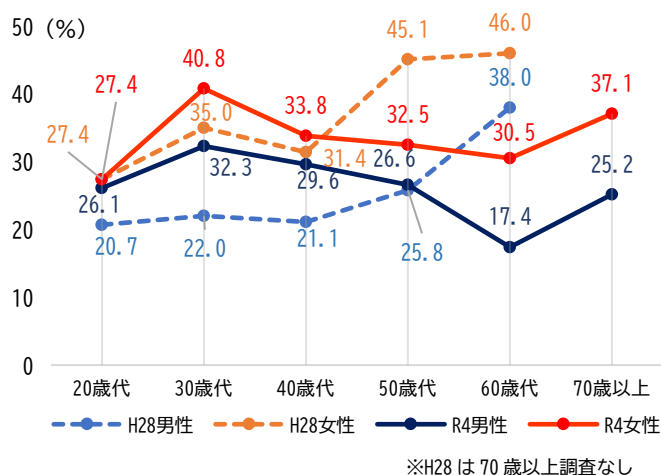
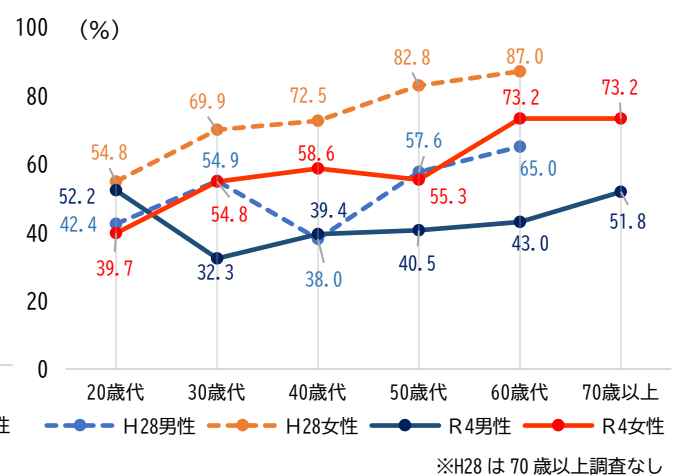


図10 食育に関することで実践していることがある



出典：R4丹波市食育アンケート

表1 丹波市いずみ会（食生活改善推進員協議会）会員数

							(人)
年度	H17	・・・	H30	R 1	R 2	R 3	R 4
会員数	297	・・・	169	161	155	145	129

取り組み状況と今後の取り組み

■食育推進の機運づくり・食育に関する情報発信

- ・「10月食育月間」「毎月15日は食育の日」に合わせて食育啓発を実施しました。
- ・令和3年度に新たに11月1日を「丹波大納言小豆の日」として制定しました。

指標の「食育に関心がある人（成人全体）」の割合、「食育に関することで実践していることがある人」の割合に減少が見られましたが、その中でも20歳代～40歳代で「関心のある人」の割合に増加（図9）がみられます。

これは、子どもへの食育推進により、その保護者や家庭へ食育が浸透したとも推察されます。

一方、50歳代、60歳代では食育に関心のある人の割合が大きく減少していることから「食育＝子どもへの食教育」と捉えられているのではないかと推察されます。

子どもから高齢者に至るまで食べることは生涯に渡って続く大切な営みであり、健康で心豊かに暮らすためには、毎日の食生活を大切にすることが欠かせません。各年代に向けてその重要性を改めて周知啓発していきます。

「丹波大納言小豆の日」の定着に向けてPRをしながら丹波の恵みをより身近に感じられるよう食育活動を進めていきます。

新型コロナの影響でイベントの実施は依然難しい状況にありますが、これまでの取り組みを継続しつつ、「新しい生活様式に対応した食育活動」を模索し、あらゆる機会をとらえて積極的に食育に関する周知啓発を行っていきます。

■関係機関等との連携・協働による食育推進体制の充実

- ・食育推進会議において取り組みの進捗確認や情報の共有を図りながら食育推進に取り組んでいます。
- ・食育活動の担い手である、地区組織への育成や活動支援を行っています。
- ・全小中学校において食育全体計画・年間計画が作成され、計画的な取り組みが実施されています。

いずみ会（食生活推進員協議会）の活動は、親子（子育て世代）食育教室、小中学校食育教室、生活習慣病予防教室、高齢者食生活改善教室、食育イベントへの協力など多岐に渡ります。しかしながら、近年会員数の減少が課題となっています（表1）。地域の食育活動の大切な担い手であることから、リーダー養成、活動の支援に努めます。

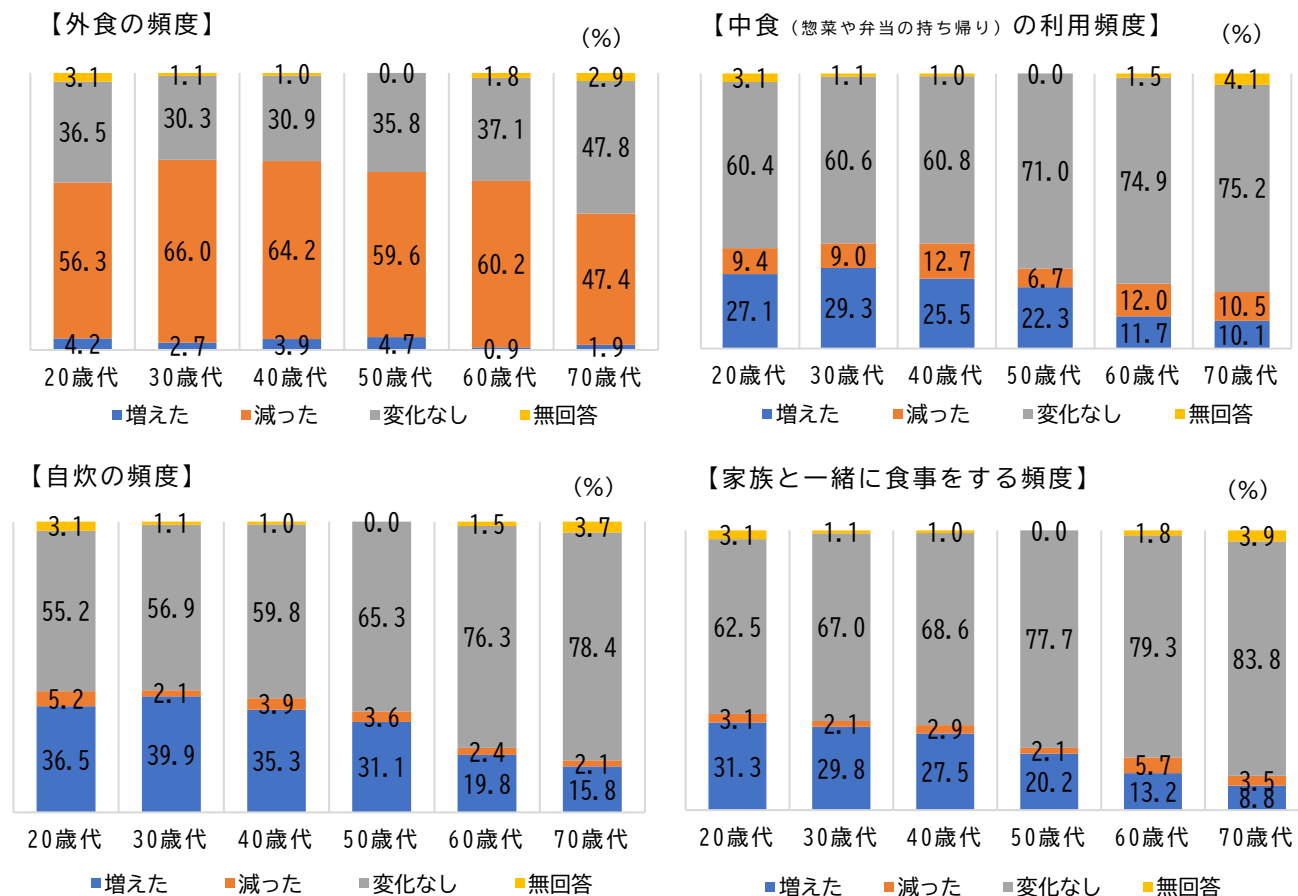
園や学校での食育推進について、引き続き児童生徒の実態に応じた取り組みが実施されるよう、進捗状況を確認し食育の充実に努めます。

次期食育推進計画は、健康たんば 21 第3次計画に包含し策定する予定です。そのため、令和4年度からは健康づくり推進協議会において食育推進活動について協議・検討・助言をいただきながら更なる推進に取り組めます。

また、健康づくり推進協議会の構成機関・団体は、乳幼児期から高齢期までの各ライフステージを代表した構成となっています。それぞれに関連するライフステージの食育課題を共有し連携を図りながら食育推進に取り組めます。

4 コロナ禍の食の状況

図 11 コロナ禍の食の状況



出典：R4丹波市食育アンケート

今回、食育アンケートを実施するにあたり、コロナ禍による食生活への影響を確認するため、食生活に変化が生じたかをたずねたところ、各年代で「外食の頻度」がコロナ禍前に比べ大きく減少していました。また、「中食の利用頻度」「自炊の頻度」「家族と一緒に食事をする頻度」では、概ね7割が「変化なし」と答えられましたが、20歳代から50歳代で、60歳以上に比べて「増えた」と答えた方の割合が高い結果でした。

社会環境や食環境の変化に加え、新型コロナウイルス感染症の拡大による食生活への影響を受け、中食や加工食品を利用する機会が増えています。今後は、若い世代に向けて栄養成分表示等を参考にして、栄養バランスを考えた組み合わせで食べることができるような取り組みを強化していきます。

5 まとめ

令和2年1月頃から新型コロナウイルス感染症の拡大により、調理体験や喫食を伴う食育活動や、多くの人が集うイベントや講座、農業体験が中止となり、また身近な仲間との共食の機会も持てないなど、さまざまな食育活動に大きく影響を及ぼしました。そのような中でも、関係機関・団体において、工夫をしながら今できる食育活動を実施されていることが確認できました。今回多く取り入れられたインターネットやSNSを活用した情報発信等は、新型コロナウイルス感染症の収束後も活用したい取り組みです。

また、指標の中間評価を行うにあたり実施した食育市民アンケートは、オンライン（Web）アンケートとオフライン（紙）アンケートを併用し、現状に即した方法を採用しました。

アンケート結果から、朝食を毎日食べる人の割合に減少がみられる年代がある他、知識はあっても実践できていない人がいること、食に関する意識の変化が生じていることも確認できました。

また「食育」を子どものためのものにとらえられている傾向も見受けられました。健康づくりに向けた食育はすべてのライフステージにおいて欠かせません。ライフステージ別に現実に即したアプローチを検討しながら、「市民一人ひとりが健康で健やかに暮らす」を目指して引き続き食育推進に取り組めます。

6 「丹波市食育推進計画（第3次）」指標と目標値一覧

取り組みの柱	第3次計画					出典
	指 標	2016(H28)	2022 (R4) 中間実績値	2025 (R7) 目標		
① 生涯にわたる健全な食生活の実践	毎日朝食を食べる人の割合の増加	(20歳代 男性)	52.2%	65.2%	70%*1	丹波市食育アンケート
		(20歳代 女性)	62.6%	53.4%	70%	
		(30歳代 男性)	72.0%	64.5%	80%	
		(30歳代 女性)	79.0%	82.8%	90%	
		(高校生)	73.0%	76.6%	90%	
		(中学生2年生)	75.3%	83.4%	100%	
		(小学生5年生)	86.6%	90.1%	100%	
		(就学前)	94.9%	95.3%	100%	
	野菜の摂取量の増加					健康課調べ
	・朝食に野菜を食べる割合の増加	(3歳児)	30.9%	31.4%*5	35%	
	主食、主菜、副菜をそろえた食事を1日2回以上摂り毎日食べている人の増加	(20歳代)	32.9%	33.3%	36%	丹波市食育アンケート
		(30歳代)	41.9%	44.7%	46%	
		(40歳代)	50.3%	42.2%	55%	
		(50歳代)	55.7%	48.7%	61%	
		(60歳以上)	57.4%	53.9%	66%	
	適正体重を達成、維持している人の割合の増加	(成人)	32.1%	30.1%	43%	丹波市食育アンケート
塩分をとり過ぎないように気をつけ、実践している人の割合の増加	(男性)	56.9%	44.3%	62%	丹波市食育アンケート	
	(女性)	75.4%	67.2%	81%		
ゆっくりよく噛んで食べている人の割合の増加	(成人)	39.5%	41.1%	43%	丹波市食育アンケート	
食事のあいさつ（いただきます・ごちそうさま）ができる人の割合の増加	(中学生)	46.4%	71.3%	78%*1	丹波市食育アンケート	
	(小学生)	61.6%	67.2%	74%*1		
	(就学前)	57.6%	53.6%	63%		
② 丹波の恵みを活かした食文化の継承・地産地消の推進	学校給食の地場野菜使用割合の増加（主要15品目）		-	23.5%*5	30%*2	教育総務課調べ
	地域の郷土料理を知っている人、作ることができる人の割合の増加					丹波市食育アンケート
	・知っている人の割合	(成人)	44.3%	69.2%	76%*1	
	・作ることができる人の割合	(成人)	14.0%	28.3%	31%*1	
	地元でとれる農産物を食べる人の割合の増加	(成人)	55.9%	51.2%	61%	丹波市食育アンケート
	丹波市産農産物の生産の増加	(丹波栗)	103.06ha	105.34ha	108ha*3	農林振興課調べ
		(黒大豆(枝豆含む))	120.01ha	172.13ha	141ha*3	
③ 丹波の「食育」を支えるひと・まちづくり	食育に関心がある人の割合の増加	(成人)	34.4%	30.5%	50%	丹波市食育アンケート
	食育に関することで実践していることがある人の割合の増加	(成人)	65.3%	53.8%	75%	丹波市食育アンケート
	地域と連携した食育活動に取り組む組織、団体の増加		5団体	20団体	20団体*4	健康課調べ

※目標値^{*1} は、中間評価において目標値を達成したので、最終年度の目標値を改定

算出方法：R4実績値×1.1倍

※目標値^{*2} は、第2次丹波市教育振興計画（令和2年4月～令和7年3月）の目標値を引用

※目標値^{*3} は、丹波市農業・農村振興計画（令和4年度3月改定）の目標値を引用

※目標値^{*4} は、中間評価実績値を継続

※中間実績値^{*5} は、令和3年度の実績値

資 料 編

令和４年度 丹波市健康づくり推進協議会委員名簿

組 織	委 員 氏 名	団 体 名
識見を有する者（１号委員）	にしむら 西村みゆき	兵庫県丹波健康福祉事務所
識見を有する者（１号委員）	わ く しんぞう 和久 晋三	丹波市医師会
識見を有する者（１号委員）	さかもと ひろし 坂本 浩	丹波市歯科医師会
識見を有する者（１号委員）	よしづみ たかこ 吉積 孝子	丹波市薬剤師会
関係団体の代表者（２号委員）	ふくがき けいこ 福垣 恵子	兵庫県在宅保健師会丹波支部
関係団体の代表者（２号委員）	おぎの みちお 荻野 道雄	丹波市自治会長会
関係団体の代表者（２号委員）	うえき じゅんこ 植木 淳子	丹波市いずみ会
関係団体の代表者（２号委員）	うす い り か 臼井 里佳	丹波市愛育会
関係団体の代表者（２号委員）	やまうち よしこ 山内 佳子	丹波市スポーツ協会
関係団体の代表者（２号委員）	あだち たつま 足立 辰馬	丹波市保育協会
関係団体の代表者（２号委員）	ふかた まさる 深田 優 くげ ひでかず 久下 秀和	民生委員児童委員協議会 深田委員：令和４年11月30日まで 久下委員：令和４年12月１日から
関係団体の代表者（２号委員）	ふじもと ま り こ 藤本真里子	丹波市栄養士会
関係団体の代表者（２号委員）	ほそたに こ 細谷マサ子	丹波市老人クラブ連合会
関係団体の代表者（２号委員）	おおぎ れいこ 大木 玲子	丹波市商工会
関係団体の代表者（２号委員）	みやざき ひさこ 宮崎 久子	丹波ひかみJA女性会
関係行政機関の職員（３号委員）	やまぐち しげただ 山口 滋唯	丹波市中学校校長会
関係行政機関の職員（３号委員）	なかざわ まさき 中澤 正樹	丹波市小学校校長会
公募による市民（４号委員）	いしづか かずひこ 石塚 和彦	公募委員
公募による市民（４号委員）	おおにし 大西ゆきえ	公募委員
公募による市民（４号委員）	よ でん けいこ 余田 啓子	公募委員

「丹波市食育推進計画（第3次）」中間評価のための アンケート調査

～ 単純集計結果～

丹波市食育推進計画(第3次)中間評価のためのアンケート調査 <一般用> ~単純集計結果~

年代

調査数	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上	無回答
1015	96	188	204	193	334	0
100.0	9.5	18.5	20.1	19.0	32.9	0

性別

調査数	男	女	その他	無回答
1015	325	690	0	0
100.0	32.0	68.0	0	0

*BMI

調査数	やせ	普通体重	肥満	無回答
1015	120	660	207	28
100.0	11.8	65.0	20.4	2.8

調査数	平均
987	22.3
100.0	

問5 食育の関心度

調査数	関心がある	関心がある どちらかといえば	関心がない どちらかといえば	関心がない	無回答
1015	310	497	155	53	0
100.0	30.5	49.0	15.3	5.2	0

問6 食育の実践有無

調査数	ある	ない	無回答
1015	546	468	1
100.0	53.8	46.1	0.1

問7 日頃の食育の取組み

調査数	えた栄養バランスを考えた食事	理解食品の安全性への配慮	食の削減しや食品廃棄物の削減	エコクッキング	のり規則正しい食生活	県内・地域の産物(市内・市外)の購入	ある地域性や季節感のある食事	ナーや食事の作法の正しい取得	培の生産から消費まで(自家消費)の消費	その他	無回答
546	398	236	238	27	299	187	196	73	111	16	0
100.0	72.9	43.2	43.6	4.9	54.8	34.2	35.9	13.4	20.3	2.9	0

問8 朝食の摂取状況

調査数	毎日食べる	ない週に1、2日食べることがある	ない週に3、4日食べることがある	ほとんど食べない	無回答
1015	820	100	23	59	13
100.0	80.8	9.9	2.3	5.8	1.3

問9 朝食を食べない理由

調査数	食欲がないから	からもっと寝ていたい	で忙しいから身支度などの準備	てい朝食の準備がされない	太りたくないから	から食べる習慣がない	その他	データ無
182	36	13	35	6	13	19	21	83
100.0	19.8	7.1	19.2	3.3	7.1	10.4	11.5	45.6

問10 主食・主菜・副菜の揃った食事の週あたり1日2回以上の摂取頻度

調査数	ほぼ毎日	週に4、5日	週に2、3日	ほとんどない	無回答
1015	476	209	165	148	17
100.0	46.9	20.6	16.3	14.6	1.7

問11 自分の適正体重に対する認知度と状態

調査数	持知している	持知しているが、維持している	知らない	無回答
1015	306	479	219	11
100.0	30.1	47.2	21.6	1.1

問12 塩分を摂り過ぎないようにする実践状況

調査数	いつもしている	時々している	あまりしていない	ほとんどない	無回答
1015	296	312	248	148	11
100.0	29.2	30.7	24.4	14.6	1.1

問13 ふだんの咀嚼状況

調査数	で食べたりよく噛んで	で食べたりよく噛んで	で食べたりよく噛んで	で食べたりよく噛んで	無回答
1015	118	299	456	131	11
100.0	11.6	29.5	44.9	12.9	1.1

問14 主に食べている農産物の産地

調査数	て獲いた丹波市を食で	て獲いた丹波市を食で	て獲いた丹波市を食で	て獲いた丹波市を食で	無回答
1015	520	60	423	12	
100.0	51.2	5.9	41.7	1.2	

丹波市食育推進計画(第3次)中間評価のためのアンケート調査 <一般用> ~単純集計結果~

問15 丹波地域の郷土料理に対する認知度

調査数	知っている	食べたことがある	料理できる	知らない	無回答
1015	702	662	287	106	13
100.0	69.2	65.2	28.3	10.4	1.2

問16 コロナ禍での食生活の変化

	調査数	増えた	減った	変化なし	無回答
ア) 外食の頻度	1015	29	625	348	13
	100.0	2.9	61.6	34.3	1.3
イ) 中食の頻度	1015	215	105	683	12
	100.0	21.2	10.3	67.3	1.2
ウ) 自炊の頻度	1015	308	32	663	12
	100.0	30.3	3.2	65.3	1.2
エ) 家族と一緒に食事をする頻度	1015	225	36	741	13
	100.0	22.2	3.5	73.0	1.3

丹波市食育推進計画(第3次)中間評価のためのアンケート調査 <一般用> ~単純集計結果~

年代			性別					* B M I						
調 査 数	7 0 歳 代	無 回 答	調 査 数	男	女	そ の 他	無 回 答	調 査 数	や せ	普 通 体 重	肥 満	無 回 答	調 査 数	平 均
513 100.0	513 100.0	0 0	513 100.0	222 43.3	291 56.7	0 0	0 0	513 100.0	50 9.7	358 69.8	84 16.4	21 4.1	492 100.0	22.1

問5 食育の関心度

調査数	関心がある	関心がどちらかといえば	関心がない	無回答
513	164	249	76	22
100.0	32.0	48.5	14.8	4.3

問6 食育の実践有無

調査数	ある	ない	無回答
513	334	179	0
100.0	65.1	34.9	0.0

問7 日頃の食育の取組み

調査数	えた栄養バランスを考えた食事	理解食品の安全性への	棄の削減しや食品廃棄	エコクッキング	の規則正しい食生活リズム	県内地域の産物(市内・購入)	ある地域性や季節感のある食事	ナーや作法の正しい取得	培の生産から消費まで(自家消費)	その他	無回答
334	267	199	182	19	243	115	162	20	115	7	0
100.0	79.9	59.6	54.5	5.7	72.8	34.4	48.5	6.0	34.4	2.1	0

問8 朝食の摂取状況

調査数	毎日食べる	ない週に1、2日食べる	ない週に3、4日食べる	ほとんど食べない	無回答
513	486	7	3	7	10
100.0	94.7	1.4	0.6	1.4	1.9

問9 朝食を食べない理由

調査数	食欲がないから	からもっと寝ていた	で忙しいから準備	て朝食の準備がされない	太りたくないから	から食べる習慣がない	その他	無回答
17	5	3	5	3	5	2	4	1
100.0	29.4	17.6	29.4	17.6	29.4	11.8	23.5	5.9

問10 主食・主菜・副菜の揃った食事の週あたり1日2回以上の摂取頻度

調査数	ほぼ毎日	週に4、5日	週に2、3日	ほとんどない	無回答
513	329	87	72	12	13
100.0	64.1	17.0	14.0	2.3	2.5

問11 自分の適正体重に対する認知度と状態

調査数	知っているし、維持している	知っているが、維持できていない	知らない	無回答
513	197	208	94	14
100.0	38.4	40.5	18.3	2.7

問12 塩分を摂り過ぎないようにする実践状況

調査数	いつもしている	時々している	あまりしていない	ほとんどない	無回答
513	224	171	73	38	7
100.0	43.7	33.3	14.2	7.4	1.4

問13 ふだんの咀嚼状況

調査数	で食べやすい	で食べにくい	で食べにくい	で食べにくい	無回答
513	84	216	174	33	3
100.0	16.4	42.1	33.9	6.4	1.2

問14 主に食べている農産物の産地

調査数	て獲いた丹波市を食で	て獲いた丹波市を食で	て獲いた丹波市を食で	て獲いた丹波市を食で	無回答
513	329	32	142	10	
100.0	64.1	6.2	27.7	1.9	

丹波市食育推進計画(第3次)中間評価のためのアンケート調査 <一般用> ~単純集計結果~

問15 丹波地域の郷土料理に対する認知度

調査数	知っている	食べたことがある	料理できる	知らない	無回答
513 100.0	409 79.7	406 79.1	232 45.2	31 6.1	11 2.1

問16 コロナ禍での食生活の変化

	調査数	増えた	減った	変化なし	無回答
ア) 外食の頻度	513 100.0	10 1.9	243 47.4	245 47.8	15 2.9
イ) 中食の頻度	513 100.0	52 10.1	54 10.5	386 75.2	21 4.1
ウ) 自炊の頻度	513 100.0	81 15.3	11 2.1	402 78.4	19 3.7
エ) 家族と一緒に食事をする頻度	513 100.0	45 8.8	18 3.5	430 83.8	20 3.9

丹波市食育推進計画(第3次)中間評価のためのアンケート調査 <就学前> ~単純集計結果~

問1 朝食の摂取状況

調査数	毎日食べる	ない週に1〜2日食べる	ない週に3〜4日食べる	ほとんど食べない	無回答
192 100.0	183 95.3	8 4.2	0 0	1 0.5	- -

問2 食事のあいさつの有無

調査数	必ずする	ときどきする	全くしていない	無回答
192 100.0	103 53.6	81 42.2	8 4.2	- -

問3 朝食の共食者

調査数	大人と一緒に	子供だけで	ひとりで	無回答
192 100.0	122 63.5	58 30.2	12 6.3	- -

問4 夕食の共食者

調査数	大人と一緒に	子供だけで	ひとりで	無回答
192 100.0	183 95.3	9 4.7	0 0	- -

問5 平日の起床時間

調査数	午前6時より前	30分前6時〜6時	7時午前6時30分〜	30分前7時〜7時	8時午前7時30分〜	午前8時以降	無回答
192 100.0	4 2.1	74 38.5	80 41.7	26 13.5	7 3.6	1 0.5	0 0

問6 平日の就寝時間

調査数	午後8時より前	午後8時〜9時	午後9時〜10時	時午後10時〜11時	0時午後11時〜午前	午前0時以降	無回答
192 100.0	1 0.5	64 33.3	104 54.2	21 10.9	2 1	0 0	0 0

問7 食事の手伝いをするか

調査数	している	時々する	していない	無回答
192 100.0	37 19.3	138 71.9	17 8.9	0 0

小学5年生

問1 朝食の摂取状況

調査数	毎日食べる	ない週に1、2日食べる	ない週に3、4日食べる	ほとんど食べない	無回答
384 100.0	346 90.1	23 6.0	8 2.1	7 1.8	0 0

問2 目覚めの気分

調査数	とても良い	よい	悪い	とても悪い	無回答
384 100.0	89 23.2	213 55.5	59 15.4	22 5.7	1 0.3

問3 食事のあいさつの有無

調査数	必ずする	時々する	全くしていない	無回答
384 100.0	258 67.2	108 28.1	18 4.7	0 0

問4 平日の起床時間

調査数	午前6時より前	30分前6時～6時	7時午前6時30分～	30分前7時～7時	8時午前7時30分～	午前8時以降	無回答
384 100.0	72 18.8	203 52.9	91 23.7	10 2.6	1 0.3	7 1.8	0 0

問5 平日の就寝時間

調査数	午後8時より前	午後8時～9時	午後9時～10時	時午後10時～11時	0時午後11時～午前	午前0時以降	無回答
384 100.0	32 8.3	37 9.6	177 46.1	112 29.2	16 4.2	10 2.6	0 0

問6 食事の手伝い

調査数	している	時々する	していない	無回答
384 100.0	139 36.2	209 54.4	36 9.4	0 0

問7 ご飯が炊けるか

調査数	できる	できない	無回答
384 100.0	267 69.5	117 30.5	0 0

問8 みそ汁が作れるか

調査数	できる	できない	無回答
384 100.0	197 51.3	186 48.4	1 0.3

中学2年生

問1 朝食の摂取状況

調査数	毎日食べる	ない週に1、2日食べ ることがある	ない週に3、4日食べ ることがある	ほとんど食べない	無回答
265 100.0	221 83.4	28 10.6	4 1.5	12 4.5	0 0

問2 目覚めの気分

調査数	とても良い	よい	悪い	とても悪い	無回答
265 100.0	45 17	139 52.5	73 27.5	8 3	0 0

問3 食事のあいさつの有無

調査数	必ずする	時々する	全くしていない	無回答
265 100.0	189 71.3	71 26.8	5 1.9	0 0

問4 平日の起床時間

調査数	午前6時より前	3 0 午前6時 6時	7 時 午前6時 30分	3 0 午前7時 7時	8 時 午前7時 30分	午前8時以降	無回答
265 100.0	59 22.3	108 40.8	71 26.8	24 9.1	2 0.8	1 0.4	0 0

問5 平日の就寝時間

調査数	午後8時より前	午後8時 9時	午後9時 10時	時 午後10時 11時	0 時 午後11時 午前	午前0時以降	無回答
265 100.0	11 4.2	5 1.9	31 11.7	104 39.2	87 32.8	27 10.2	0 0

問6 食事の手伝い

調査数	している	時々する	していない	無回答
265 100.0	87 32.8	147 55.5	31 11.7	0 0

問7 ご飯が炊けるか

調査数	できる	できない	無回答
265 100.0	225 84.9	40 15.1	0 0

問8 みそ汁が作れるか

調査数	できる	できない	無回答
265 100.0	197 74.3	68 25.7	0 0

丹波市食育推進計画(第3次)中間評価のためのアンケート調査 <高校生用> ~単純集計結果~

性別

調査数	男	女	その他	無回答
282	124	153	5	0
100.0	44.0	54.3	1.8	0

*BMI

調査数	やせ	普通体重	肥満	無回答
282	72	191	13	6
100.0	25.5	67.7	4.6	2.1

問4 朝食の摂取状況

調査数	毎日食べる	ない週に1、2日食べる	ない週に3、4日食べる	ほとんど食べない	無回答
282	216	41	14	11	0
100.0	76.6	14.5	5.0	3.9	0

問5 朝食を食べない理由(複数回答) 朝食を食べないことがあると回答した66名

調査数	食欲がないから	からもつと寝ていたい	で忙しいから	身支度などの準備	てい朝食の準備がされない	太りたくないから	から食べる習慣がない	その他	無回答
66	24	27	34	7	2	13	4	-	-
100.0	36.4	40.9	51.5	10.6	3.0	19.7	6.1	-	-

問6 食事の手伝い

調査数	している	時々する	していない	無回答
282	80	149	53	0
100.0	28.4	52.8	18.8	0

問7 ご飯が炊けるか

調査数	できる	できない	無回答
282	242	39	1
100.0	85.8	13.8	0.4

問8 みそ汁が作れるか

調査数	できる	できない	無回答
282	214	68	0
100.0	75.9	24.1	0

問9 栄養バランスを考えて選んでいるか

調査数	いつも考えている	時々考える	考えていない	無回答
282	27	160	94	1
100.0	9.6	56.7	33.3	0.4

問10 栄養成分表示を参考にしているか

調査数	いるいつも参考にしている	時々参考にしている	いあまり参考にしない	参考にしていない	無回答
282	13	79	93	93	4
100.0	4.6	28.0	33.0	33.0	1.4

問11 自分の適正体重に対する認知度と状態

調査数	持し知っている、維持	でき知っているが、維持	知らない	無回答
282	35	70	144	33
100.0	12.4	24.8	51.1	11.7

問12 今よりも痩せたいと思うか

調査数	そう思う	少し思う	思わない	無回答
282	115	51	115	1
100.0	40.8	18.1	40.8	0.4

「丹波市食育推進計画（第3次）」中間評価のための アンケート調査

< 一般 >

～ 基本属性別クロス集計結果～

丹波市食育推進計画(第3次)「中間評価のためのアンケート調査 <一般用> ~基本属性別クロス集計結果~

年代
性別

	調査数	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上	無回答
全 体	1015 100.0	96 9.5	188 18.5	204 20.1	193 19.0	334 32.9	0 0.0
男	325 100.0	23 7.1	31 9.5	71 21.8	79 24.3	121 37.2	0 0.0
女	690 100.0	73 10.6	157 22.8	133 19.3	114 16.5	213 30.9	0 0.0
無回答	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

性別
年代

	調査数	男	女	その他	無回答
全 体	1015 100.0	325 32.0	690 68.0	0 0.0	0 0.0
20歳代	96 100.0	23 24.0	73 76.0	0 0.0	0 0.0
30歳代	188 100.0	31 16.5	157 83.5	0 0.0	0 0.0
40歳代	204 100.0	71 37.2	133 69.6	0 0.0	0 0.0
50歳代	193 100.0	79 40.9	114 59.1	0 0.0	0 0.0
60歳以上	334 100.0	121 36.2	213 63.8	0 0.0	0 0.0
無回答	0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

丹波市食育推進計画(第3次)「中間評価のためのアンケート調査 <一般用> ~基本属性別クロス集計結果~

*BMI
性別

	調査数	やせ	普通体重	肥満	無回答
全 体	1015 100.0	120 11.8	660 65.0	207 20.4	28 2.8
男	325 100.0	15 4.6	192 59.1	109 33.5	9 2.8
女	690 100.0	105 15.2	468 67.8	98 14.2	19 2.8
無回答	0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

調査数	平均BMI
906 100.0	22.3
316 100.0	22.4
671 100.0	22.3

年代

全 体	1015 100.0	120 11.8	660 65.0	207 20.4	28 2.8
20歳代	96 100.0	14 14.6	70 72.9	12 12.5	0 0.0
30歳代	188 100.0	30 16.0	126 67.0	30 13.3	7 3.7
40歳代	204 100.0	26 12.7	116 56.9	51 25.0	11 5.4
50歳代	193 100.0	16 8.3	135 69.9	42 21.8	0 0.0
60歳以上	334 100.0	34 10.2	213 63.8	77 23.1	10 3.0
無回答	0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

987 100.0	22.3
96 100.0	21.4
181 100.0	21.3
193 100.0	22.9
193 100.0	22.7
324 100.0	22.6

*性・年代

全 体	1015 100.0	120 11.8	660 65.0	207 20.4	28 2.8
男 20歳代	23 100.0	1 4.3	16 69.6	6 26.1	0 0.0
30歳代	31 100.0	1 3.2	19 61.3	10 32.3	1 3.2
40歳代	71 100.0	4 5.6	34 47.9	30 42.3	3 4.2
50歳代	79 100.0	2 2.5	53 67.1	24 30.4	0 0.0
60歳以上	121 100.0	7 5.8	70 57.9	39 32.2	5 4.1
女 20歳代	73 100.0	13 17.8	54 74.0	6 8.2	0 0.0
30歳代	157 100.0	29 18.5	107 68.2	15 9.6	6 3.8
40歳代	133 100.0	22 16.5	82 61.7	21 15.8	8 6.0
50歳代	114 100.0	14 12.3	82 71.9	18 15.8	0 0.0
60歳以上	213 100.0	27 12.7	143 67.1	38 17.8	5 2.3
無回答	0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

987 100.0	22.3
23 100.0	22.8
30 100.0	23.8
68 100.0	24.5
79 100.0	23.9
116 100.0	23.5
73 100.0	21.0
151 100.0	20.9
125 100.0	22.0
114 100.0	21.9
208 100.0	22.1
0 100.0	

丹波市食育推進計画(第3次)「中間評価のためのアンケート調査 <一般用> ~基本属性別クロス集計結果~

問5 食育の関心度
性別

	調査数	関心がある	どちらかといえば関心がある	どちらかといえば関心がない	関心がない	無回答
全 体	1015 100.0	310 30.5	497 49.0	155 15.3	53 5.2	0 0.0
男	325 100.0	79 24.3	135 41.5	73 22.5	38 11.7	0 0.0
女	690 100.0	231 33.5	362 52.5	82 11.9	15 2.2	0 0.0
無回答	0 100.0					

年代

全 体	1015 100.0	310 30.5	497 49.0	155 15.3	53 5.2	0 0.0
20歳代	96 100.0	26 27.1	42 43.8	20 20.8	8 8.3	0 0.0
30歳代	188 100.0	74 39.4	89 47.3	16 8.5	9 4.8	0 0.0
40歳代	204 100.0	66 32.4	94 46.1	36 17.6	8 3.9	0 0.0
50歳代	193 100.0	58 30.1	97 50.3	31 16.1	7 3.6	0 0.0
60歳以上	334 100.0	86 25.7	175 52.4	52 15.6	21 6.3	0 0.0
無回答	0 100.0					

* 性・年代

全 体	1015 100.0	310 30.5	497 49.0	155 15.3	53 5.2	0 0.0
男 20歳代	23 100.0	6 26.1	8 34.8	4 17.4	5 21.7	0 0.0
30歳代	31 100.0	10 32.3	15 48.4	3 9.7	3 9.7	0 0.0
40歳代	71 100.0	21 29.6	23 32.4	19 26.8	8 11.3	0 0.0
50歳代	79 100.0	21 26.6	35 44.3	17 21.5	6 7.6	0 0.0
60歳以上	121 100.0	21 17.4	54 44.6	30 24.8	16 13.2	0 0.0
女 20歳代	73 100.0	20 27.4	34 46.6	16 21.9	3 4.1	0 0.0
30歳代	157 100.0	64 40.8	74 47.1	13 8.3	6 3.8	0 0.0
40歳代	133 100.0	45 33.8	71 53.4	17 12.8	0 0.0	0 0.0
50歳代	114 100.0	37 32.5	62 54.4	14 12.3	1 0.9	0 0.0
60歳以上	213 100.0	65 30.5	121 56.8	22 10.3	5 2.3	0 0.0
無回答	0 100.0					

問6 食育の実践有無
性別

	調査数	ある	ない	無回答
全 体	1015 100.0	546 53.8	468 46.1	1 0.1
男	325 100.0	134 41.2	191 58.8	0 0.0
女	690 100.0	412 59.7	277 40.1	1 0.1
無回答	0 100.0			

年代

全 体	1015 100.0	546 53.8	468 46.1	1 0.1
20歳代	96 100.0	41 42.7	55 57.3	0 0.0
30歳代	188 100.0	96 51.1	91 48.4	1 0.5
40歳代	204 100.0	106 52.0	98 48.0	0 0.0
50歳代	193 100.0	95 49.2	98 50.8	0 0.0
60歳以上	334 100.0	208 62.3	126 37.7	0 0.0
無回答	0 100.0			

* 性・年代

全 体	1015 100.0	546 53.8	468 46.1	1 0.1
男 20歳代	23 100.0	12 52.2	11 47.8	0 0.0
30歳代	31 100.0	10 32.3	21 67.7	0 0.0
40歳代	71 100.0	28 39.4	43 60.6	0 0.0
50歳代	79 100.0	32 40.5	47 59.5	0 0.0
60歳以上	121 100.0	52 43.0	69 57.0	0 0.0
女 20歳代	73 100.0	29 39.7	44 60.3	0 0.0
30歳代	157 100.0	86 54.8	70 44.6	1 0.6
40歳代	133 100.0	78 58.6	55 41.4	0 0.0
50歳代	114 100.0	63 55.3	51 44.7	0 0.0
60歳以上	213 100.0	156 73.2	57 26.8	0 0.0
無回答	0 100.0			

丹波市食育推進計画(第3次)「中間評価のためのアンケート調査 <一般用> ~基本属性別クロス集計結果~

問7 日頃の食育の取り組み
性別

	調査数	栄養バランスを考えた食事	食品の安全性への理解	食べ残しや食品廃棄の削減	エコクッキング	規則正しい食生活の励み	地域産物(市内・県内)の購入	地域性や季節感のある食事	食事の正しいマナーや作法の取得	生産から消費までのプロセス(自家栽培・自家消費)	その他	無回答
全 体	546 100.0	398 72.9	236 43.2	238 43.6	27 4.9	299 54.8	187 34.2	196 35.9	73 13.4	111 20.3	16 2.9	0 0.0
男	134 100.0	85 63.4	50 37.3	58 43.3	6 4.5	55 41.0	34 25.4	33 24.6	15 11.2	33 24.6	5 3.7	0 0.0
女	412 100.0	313 76.0	186 45.1	180 43.7	21 5.1	244 59.2	153 37.1	163 39.6	58 14.1	78 18.9	11 2.7	0 0.0
無回答	0 100.0											

年代

全 体	546 100.0	398 72.9	236 43.2	238 43.6	27 4.9	299 54.8	187 34.2	196 35.9	73 13.4	111 20.3	16 2.9	0 0.0
20歳代	41 100.0	24 58.5	12 29.3	16 39.0	1 2.4	19 46.3	8 19.5	8 19.5	7 17.1	5 12.2	1 2.4	0 0.0
30歳代	96 100.0	65 67.7	39 40.6	38 39.6	1 1.0	45 46.9	45 46.9	36 37.5	22 22.9	16 16.7	4 4.2	0 0.0
40歳代	106 100.0	82 77.4	37 34.9	41 38.7	4 3.8	58 54.7	31 29.2	26 24.5	15 14.2	12 11.3	3 2.8	0 0.0
50歳代	95 100.0	63 66.3	33 34.7	41 43.2	9 9.5	53 55.8	34 35.8	30 31.6	11 11.6	14 14.7	1 1.1	0 0.0
60歳以上	208 100.0	164 78.8	115 55.3	102 49.0	12 5.8	124 59.6	69 33.2	96 46.2	18 8.7	64 30.8	7 3.4	0 0.0
無回答	0 100.0											

* 性・年代

全 体	546 100.0	398 72.9	236 43.2	238 43.6	27 4.9	299 54.8	187 34.2	196 35.9	73 13.4	111 20.3	16 2.9	0 0.0
男 20歳代	12 100.0	8 66.7	7 58.3	7 13.5	1 8.3	2 16.7	3 25.0	1 8.3	1 8.3	1 8.3	0 0.0	0 0.0
30歳代	10 100.0	6 60.0	4 40.0	4 40.0	0 0.0	3 30.0	4 40.0	3 30.0	2 20.0	3 30.0	0 0.0	0 0.0
40歳代	28 100.0	18 64.3	7 25.0	10 35.7	1 3.6	7 25.0	5 17.9	2 7.1	3 10.7	6 21.4	3 10.7	0 0.0
50歳代	32 100.0	14 43.8	8 25.0	12 37.5	2 6.3	12 37.5	10 31.3	4 12.5	3 9.4	5 15.6	1 3.1	0 0.0
60歳以上	52 100.0	39 75.0	24 46.2	25 48.1	2 3.8	31 59.6	12 23.1	23 44.2	6 11.5	18 34.6	1 1.9	0 0.0
女 20歳代	29 100.0	16 55.2	5 17.2	9 31.0	0 0.0	17 58.6	5 17.2	7 24.1	6 20.7	4 13.8	1 3.4	0 0.0
30歳代	86 100.0	59 68.6	35 40.7	34 39.5	2 2.3	53 61.6	40 46.5	28 32.6	20 23.3	13 15.1	4 4.7	0 0.0
40歳代	78 100.0	64 82.1	30 38.5	31 39.7	3 3.8	51 65.4	26 33.3	24 30.8	12 15.4	6 7.7	10 12.8	0 0.0
50歳代	63 100.0	49 77.8	25 39.7	29 46.0	7 11.1	35 55.6	24 38.1	26 41.3	8 12.7	9 14.3	0 0.0	0 0.0
60歳以上	156 100.0	125 80.1	91 58.3	77 49.4	10 6.4	93 59.6	57 36.5	73 46.8	12 7.7	46 29.5	6 3.8	0 0.0
無回答	0 100.0											

丹波市食育推進計画(第3次)「中間評価のためのアンケート調査 <一般用> ~基本属性別クロス集計結果~

問8 朝食の摂取状況
性別

	調査数	必ず毎日食べる	週に1、2日食べない	週に3、4日食べない	ほとんど食べない	無回答
全 体	1015 100.0	820 80.8	100 9.9	23 2.3	59 5.8	13 1.3
男	325 100.0	253 77.8	31 9.5	12 3.7	28 8.6	1 0.3
女	690 100.0	567 82.2	69 10.0	11 1.6	31 4.5	12 1.7
無回答	0 100.0					

年代

全 体	1015 100.0	820 80.8	100 9.9	23 2.3	59 5.8	13 1.3
20歳代	96 100.0	54 56.3	23 24.0	6 6.3	11 11.5	2 2.1
30歳代	188 100.0	150 79.8	26 13.8	1 0.5	9 4.8	2 1.1
40歳代	204 100.0	158 77.5	19 9.3	5 2.5	20 9.8	2 1.0
50歳代	193 100.0	164 85.0	13 6.7	5 2.6	11 5.7	0 0.0
60歳以上	334 100.0	294 88.0	19 5.7	6 1.8	8 2.4	7 2.1
無回答	0 100.0					

* 性・年代

全 体	1015 100.0	820 80.8	100 9.9	23 2.3	59 5.8	13 1.3
男 20歳代	23 100.0	15 65.2	3 13.0	2 8.7	3 13.0	0 0.0
30歳代	31 100.0	20 64.5	8 25.8	0 0.0	3 9.7	0 0.0
40歳代	71 100.0	52 73.2	5 7.0	4 5.6	10 14.1	0 0.0
50歳代	79 100.0	63 79.7	6 7.6	4 5.1	6 7.6	0 0.0
60歳以上	121 100.0	103 85.1	9 7.4	2 1.7	6 5.0	1 0.8
女 20歳代	73 100.0	39 53.4	20 27.4	4 5.5	8 11.0	2 2.7
30歳代	157 100.0	130 82.8	18 11.5	1 0.6	6 3.8	2 1.3
40歳代	133 100.0	106 79.7	14 10.5	1 0.8	10 7.5	2 1.5
50歳代	114 100.0	101 88.6	7 6.1	1 0.9	5 4.4	0 0.0
60歳以上	213 100.0	191 89.7	10 4.7	4 1.9	2 0.9	6 2.8
無回答	0 100.0					

問9 朝食を食べない理由
性別

	調査数	食欲がないから	もっと寝ていたいから	忙しい支度などの準備で	朝食の準備がされて	太りたくないから	食べる習慣がないから	その他	抽出エラー
全 体	182 100.0	36 19.8	13 7.1	35 19.2	6 3.3	13 7.1	19 10.4	21 11.5	83 45.6
男	71 100.0	9 12.7	5 7.0	6 8.5	4 5.6	8 11.3	13 18.3	10 14.1	36 50.7
女	111 100.0	27 24.3	8 7.2	29 26.1	2 1.8	5 4.5	6 5.4	11 9.9	47 42.3
無回答	0 100.0								

年代

全 体	182 100.0	36 19.8	13 7.1	35 19.2	6 3.3	13 7.1	19 10.4	21 11.5	83 45.6
20歳代	40 100.0	11 27.5	3 7.5	12 30.0	1 2.5	4 10.0	2 5.0	2 5.0	20 50.0
30歳代	36 100.0	4 11.1	4 11.1	8 22.2	1 2.8	0 0.0	1 2.8	5 13.9	18 50.0
40歳代	44 100.0	9 20.5	3 6.8	6 13.6	0 0.0	3 6.8	10 22.7	5 11.4	21 47.7
50歳代	29 100.0	2 6.9	1 3.4	5 17.2	0 0.0	3 10.3	2 6.9	4 13.8	15 51.7
60歳以上	33 100.0	10 30.3	2 6.1	4 12.1	4 12.1	3 9.1	6 18.2	5 15.2	9 27.3
無回答	0 100.0								

* 性・年代

全 体	182 100.0	36 19.8	13 7.1	35 19.2	6 3.3	13 7.1	19 10.4	21 11.5	83 45.6
男 20歳代	8 100.0	2 25.0	1 12.5	2 25.0	0 0.0	1 12.5	1 12.5	0 0.0	5 62.5
30歳代	11 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 9.1	2 18.2	8 72.7
40歳代	19 100.0	2 10.5	1 5.3	1 5.3	0 0.0	2 10.5	5 26.3	4 21.1	9 47.4
50歳代	16 100.0	1 6.3	1 6.3	1 6.3	0 0.0	2 12.5	1 6.3	3 18.8	10 62.5
60歳以上	17 100.0	4 23.5	2 11.8	2 11.8	4 23.5	3 17.6	5 29.4	1 5.9	4 23.5
女 20歳代	32 100.0	9 28.1	2 6.3	10 31.3	1 3.1	3 9.4	1 3.1	2 6.3	15 46.9
30歳代	25 100.0	4 16.0	4 16.0	8 32.0	1 4.0	0 0.0	0 0.0	3 12.0	10 40.0
40歳代	25 100.0	7 28.0	2 8.0	5 20.0	0 0.0	1 4.0	3 12.0	1 4.0	12 48.0
50歳代	13 100.0	1 7.7	0 0.0	4 30.8	0 0.0	1 7.7	1 7.7	1 7.7	5 38.5
60歳以上	16 100.0	6 37.5	0 0.0	2 12.5	0 0.0	0 0.0	1 6.3	4 25.0	5 31.3
無回答	0 100.0								

丹波市食育推進計画(第3次)「中間評価のためのアンケート調査 <一般用> ~基本属性別クロス集計結果~

問10 主食・主菜・副菜の揃った食事の週あたり1日2回以上の摂取頻度
性別

	調査数	ほぼ毎日	週に4〜5日	週に2〜3日	ほとんどない	無回答
全 体	1015 100.0	476 46.9	209 20.6	165 16.3	148 14.6	17 1.7
男	325 100.0	151 46.5	65 20.0	60 18.5	47 14.5	2 0.6
女	690 100.0	325 47.1	144 20.9	105 15.2	101 14.6	15 2.2
無回答	0 100.0					

年代

全 体	1015 100.0	476 46.9	209 20.6	165 16.3	148 14.6	17 1.7
20歳代	96 100.0	32 33.3	19 19.8	20 20.8	22 22.9	3 3.1
30歳代	188 100.0	84 44.7	42 22.3	31 16.5	29 15.4	2 1.1
40歳代	204 100.0	86 42.2	45 22.1	38 18.6	31 15.2	4 2.0
50歳代	193 100.0	94 48.7	36 18.7	29 15.0	34 17.6	0 0.0
60歳以上	334 100.0	180 53.9	67 20.1	47 14.1	32 9.6	8 2.4
無回答	0 100.0					

* 性・年代

全 体	1015 100.0	476 46.9	209 20.6	165 16.3	148 14.6	17 1.7
男 20歳代	23 100.0	9 39.1	7 30.4	4 17.4	3 13.0	0 0.0
30歳代	31 100.0	10 32.3	8 25.8	6 19.4	7 22.6	0 0.0
40歳代	71 100.0	28 39.4	17 23.9	15 21.1	10 14.1	1 1.4
50歳代	79 100.0	38 48.1	16 20.3	13 16.5	12 15.2	0 0.0
60歳以上	121 100.0	66 54.5	17 14.0	22 18.2	15 12.4	1 0.8
女 20歳代	73 100.0	23 31.5	12 16.4	16 21.9	19 26.0	3 4.1
30歳代	157 100.0	74 47.1	34 21.7	25 15.9	22 14.0	2 1.3
40歳代	133 100.0	58 43.6	28 21.1	23 17.3	21 15.8	3 2.3
50歳代	114 100.0	56 49.1	20 17.5	16 14.0	22 19.3	0 0.0
60歳以上	213 100.0	114 53.5	50 23.5	25 11.7	17 8.0	7 3.3
無回答	0 100.0					

問11 自分の適正体重に対する認知度と状態
性別

	調査数	知っているし、維持	できているが、維持	知らない	無回答
全 体	1015 100.0	306 30.1	479 47.2	219 21.6	11 1.1
男	325 100.0	80 24.6	160 49.2	84 25.8	1 0.3
女	690 100.0	226 32.8	319 46.2	135 19.6	10 1.4
無回答	0 100.0				

年代

全 体	1015 100.0	306 30.1	479 47.2	219 21.6	11 1.1
20歳代	96 100.0	33 34.4	40 41.7	21 21.9	2 2.1
30歳代	188 100.0	65 34.6	83 44.1	38 20.2	2 1.1
40歳代	204 100.0	54 26.5	104 50.0	46 22.5	2 1.0
50歳代	193 100.0	72 37.3	93 48.2	28 14.5	0 0.0
60歳以上	334 100.0	82 24.6	161 48.2	86 15.7	5 1.5
無回答	0 100.0				

* 性・年代

全 体	1015 100.0	306 30.1	479 47.2	219 21.6	11 1.1
男 20歳代	23 100.0	5 21.7	10 43.5	8 34.8	0 0.0
30歳代	31 100.0	8 25.8	14 45.2	9 29.0	0 0.0
40歳代	71 100.0	14 19.7	40 56.3	17 23.9	0 0.0
50歳代	79 100.0	31 39.2	37 46.8	11 13.9	0 0.0
60歳以上	121 100.0	22 18.2	59 48.8	39 32.2	1 0.8
女 20歳代	73 100.0	28 38.4	30 41.1	13 17.8	2 2.7
30歳代	157 100.0	57 36.3	69 43.9	29 18.5	2 1.3
40歳代	133 100.0	40 30.1	62 46.6	29 21.8	2 1.5
50歳代	114 100.0	41 36.0	56 49.1	17 14.9	0 0.0
60歳以上	213 100.0	60 28.2	102 47.9	47 22.1	4 1.9
無回答	0 100.0				

丹波市食育推進計画(第3次)「中間評価のためのアンケート調査 <一般用> ~基本属性別クロス集計結果~

問12 塩分を摂り過ぎないようにしている
性別

	調査数	いつもしている	時々している	あまりしていない	ほとんどしていない	無回答
全 体	1015 100.0	296 29.2	312 30.7	248 24.4	148 14.6	11 1.1
男	325 100.0	71 21.8	73 22.5	108 33.2	72 22.2	1 0.3
女	690 100.0	225 32.6	239 34.6	140 20.3	76 11.0	10 1.4
無回答	0 100.0					

年代

全 体	1015 100.0	296 29.2	312 30.7	248 24.4	148 14.6	11 1.1
20歳代	96 100.0	21 21.9	27 28.1	24 25.0	22 22.9	2 2.1
30歳代	188 100.0	36 19.1	63 33.5	56 29.8	31 16.5	2 1.1
40歳代	204 100.0	44 21.6	60 29.4	59 28.9	39 19.1	2 1.0
50歳代	193 100.0	67 34.7	62 32.1	39 20.2	25 13.0	0 0.0
60歳以上	334 100.0	128 38.3	100 29.9	70 21.0	31 9.3	5 1.5
無回答	0 100.0					

* 性・年代

全 体	1015 100.0	296 29.2	312 30.7	248 24.4	148 14.6	11 1.1
男 20歳代	23 100.0	5 21.7	3 13.0	10 43.5	5 21.7	0 0.0
30歳代	31 100.0	0 0.0	8 25.8	13 41.9	10 32.3	0 0.0
40歳代	71 100.0	6 8.5	23 32.4	25 35.2	17 23.9	71 0.0
50歳代	79 100.0	20 25.3	21 26.6	20 25.3	18 22.8	0 0.0
60歳以上	121 100.0	40 33.1	18 14.9	40 33.1	22 18.2	1 0.8
女 20歳代	74 100.0	16 21.9	24 32.9	14 19.2	17 23.3	2 2.7
30歳代	157 100.0	36 22.9	55 35.0	43 27.4	21 13.4	2 1.3
40歳代	133 100.0	38 28.6	37 27.8	34 25.6	22 16.5	2 1.5
50歳代	114 100.0	47 41.2	41 36.0	19 16.7	7 6.1	0 0.0
60歳以上	213 100.0	88 41.3	82 38.5	30 14.1	9 4.2	4 1.9
無回答	100.0					

問13 ふだんの咀嚼状況
性別

	調査数	食ゆ べて いる よく 噛 んで	ど ち ら か と い く え ば ん	ど ち ら か と い く え ば ん	食 べ て い り な い く え ば ん	無 回 答
全 体	1015 100.0	118 11.6	299 29.5	456 44.9	131 12.9	11 1.1
男	325 100.0	42 12.9	83 25.5	142 43.7	57 17.5	1 0.3
女	690 100.0	76 11.0	216 31.3	314 45.5	74 10.7	10 1.4
無回答	0 100.0					

年代

全 体	1015 100.0	118 11.6	299 29.5	456 44.9	131 12.9	11 1.1
20歳代	96 100.0	17 17.7	27 28.1	37 38.5	12 12.5	3 3.1
30歳代	188 100.0	20 10.6	57 30.3	83 44.1	26 13.8	2 1.1
40歳代	204 100.0	20 9.8	54 26.5	93 45.6	35 17.2	2 1.0
50歳代	193 100.0	22 11.4	62 32.1	84 43.5	25 13.0	0 0.0
60歳以上	334 100.0	39 11.7	99 29.6	159 47.6	33 9.9	4 1.2
無回答	0 100.0					

* 性・年代

全 体	1015 100.0	118 11.6	299 29.5	456 44.9	131 12.9	11 1.1
男 20歳代	23 100.0	3 13.0	6 26.1	11 47.8	3 13.0	0 0.0
30歳代	31 100.0	3 9.7	7 22.6	15 48.4	6 19.4	0 0.0
40歳代	71 100.0	3 4.2	13 18.3	35 49.3	20 28.2	0 0.0
50歳代	79 100.0	13 16.5	20 25.3	34 43.0	12 15.2	0 0.0
60歳以上	121 100.0	20 16.5	37 30.6	47 38.8	16 13.2	1 0.8
女 20歳代	73 100.0	14 19.2	21 28.8	26 35.6	9 12.3	3 4.1
30歳代	157 100.0	17 10.8	50 31.8	68 43.3	20 12.7	2 1.3
40歳代	133 100.0	17 12.8	41 30.8	58 43.6	15 11.3	2 1.5
50歳代	114 100.0	9 7.9	42 36.8	50 43.9	13 11.4	0 0.0
60歳以上	213 100.0	19 8.9	62 29.1	112 52.6	17 8.0	3 1.4
無回答	0 100.0					

丹波市食育推進計画(第3次)「中間評価のためのアンケート調査 <一般用> ~基本属性別クロス集計結果~

問14 主に食べている農産物の産地
性別

	調査数	いさ主に るた丹 も波 の内 食で 収て種	いさ主に るれに た丹 も波 の外 食で 収て種	い産 地 に は こ だ わ つ て	無 回 答
全 体	1015 100.0	520 51.2	60 5.9	423 41.7	12 1.2
男	325 100.0	157 48.3	16 4.9	151 46.5	1 0.3
女	690 100.0	363 52.6	44 6.7	272 39.4	11 1.6
無回答	0 100.0				

年代

全 体	1015 100.0	520 51.2	60 5.9	423 41.7	12 1.2
20歳代	96 100.0	25 26.0	5 5.2	63 65.6	3 3.1
30歳代	188 100.0	80 42.6	12 6.4	93 49.5	3 1.6
40歳代	204 100.0	105 51.5	14 6.9	83 40.7	2 1.0
50歳代	193 100.0	107 55.4	14 7.3	72 37.3	0 0.0
60歳以上	334 100.0	203 60.8	15 4.5	112 33.5	4 1.2
無回答	0 100.0				

*性・年代

全 体	1015 100.0	520 51.2	60 5.9	423 41.7	12 1.2
男 20歳代	23 100.0	4 17.4	1 4.3	18 78.3	0 0.0
30歳代	31 100.0	8 25.8	2 6.5	21 67.7	0 0.0
40歳代	71 100.0	32 45.1	6 8.5	33 46.5	0 0.0
50歳代	79 100.0	43 54.4	3 3.8	33 41.8	0 0.0
60歳以上	121 100.0	70 57.9	4 3.3	46 38.0	1 0.8
女 20歳代	73 100.0	21 28.8	4 5.5	45 61.6	3 4.1
30歳代	157 100.0	72 45.9	10 6.4	72 45.9	3 1.9
40歳代	133 100.0	73 54.9	8 6.0	50 37.6	2 1.5
50歳代	114 100.0	64 56.1	11 9.6	39 34.2	0 0.0
60歳以上	213 100.0	133 62.4	11 5.2	66 31.0	3 1.4
無回答	0 100.0				

問15 丹波地域の郷土料理に対する認知度
性別

	調査数	知 つ て い る	食 べ た こ と が あ る	料 理 で き る	知 ら な い	無 回 答
全 体	1015 100.0	702 69.2	662 65.2	287 28.3	106 10.4	13 1.2
男	325 100.0	214 65.8	197 60.6	37 11.4	53 16.3	1 0.3
女	690 100.0	488 70.7	465 67.4	250 36.2	53 7.7	12 1.7
無回答	0 100.0					

年代

全 体	1015 100.0	702 69.2	662 65.2	287 28.3	106 10.4	13 1.2
20歳代	96 100.0	65 67.7	60 62.5	12 12.5	9 9.4	3 3.1
30歳代	188 100.0	124 66.0	110 58.5	41 21.8	21 11.2	3 1.6
40歳代	204 100.0	137 67.2	133 65.2	36 17.6	16 7.8	2 1.0
50歳代	193 100.0	138 71.5	121 62.7	43 22.3	23 11.9	0 0.0
60歳以上	334 100.0	238 71.3	238 71.3	155 46.4	37 11.1	5 1.5
無回答	0 100.0					

*性・年代

全 体	1015 100.0	702 69.2	662 65.2	287 28.3	106 10.4	13 1.2
男 20歳代	23 100.0	15 65.2	16 69.6	1 4.3	2 8.7	0 0.0
30歳代	31 100.0	24 77.4	15 48.4	4 12.9	3 9.7	0 0.0
40歳代	71 100.0	44 62.0	42 59.2	8 11.3	9 12.7	0 0.0
50歳代	79 100.0	55 69.6	44 55.7	7 8.9	12 15.2	0 0.0
60歳以上	121 100.0	76 62.8	80 66.1	17 14.0	27 22.3	1 0.8
女 20歳代	73 100.0	50 68.5	44 60.3	11 15.1	7 9.6	3 4.1
30歳代	157 100.0	100 63.7	95 60.5	37 23.6	18 11.5	3 1.9
40歳代	133 100.0	93 69.9	91 68.4	28 21.1	7 5.3	2 1.5
50歳代	114 100.0	83 72.8	77 67.5	36 31.6	11 9.6	0 0.0
60歳以上	213 100.0	162 76.1	158 74.2	138 64.8	10 4.7	4 1.9
無回答	0 100.0					

丹波市食育推進計画(第3次)「中間評価のためのアンケート調査 <一般用> ~基本属性別クロス集計結果~

問16コロナ禍での生活の変化【外食の頻度】

性別	調査数	増えた	減った	変化なし	無回答
全 体	1015 100.0	29 2.9	625 61.6	348 34.3	13 1.3
男	325 100.0	13 4.0	188 57.8	122 37.5	2 0.6
女	690 100.0	16 2.3	437 63.3	226 32.8	11 1.6
無回答	0 100.0				

年代

全 体	1015 100.0	29 2.9	625 61.6	348 34.3	13 1.3
20歳代	96 100.0	1 4.2	54 56.3	35 36.5	3 3.1
30歳代	188 100.0	5 2.7	124 66.0	57 30.3	2 1.1
40歳代	204 100.0	8 3.9	131 64.2	63 30.9	2 1.0
50歳代	193 100.0	9 4.7	115 59.6	69 35.8	0 0.0
60歳以上	334 100.0	3 0.9	201 60.2	124 37.1	6 1.8
無回答	0 100.0				

* 性・年代

全 体	1015 100.0	29 2.9	625 61.6	348 34.3	13 1.3
男 20歳代	23 100.0	2 8.7	12 52.2	9 39.1	0 0.0
30歳代	31 100.0	0 0.0	18 58.1	13 41.9	0 0.0
40歳代	71 100.0	4 5.6	43 60.6	24 33.8	0 0.0
50歳代	79 100.0	5 6.3	42 53.2	32 40.5	0 0.0
60歳以上	121 100.0	2 1.7	73 60.3	44 36.4	2 1.7
女 20歳代	73 100.0	2 2.7	42 57.5	26 35.6	3 4.1
30歳代	157 100.0	5 3.2	106 67.5	44 28.0	2 1.3
40歳代	133 100.0	4 3.0	88 66.2	39 29.3	2 1.5
50歳代	114 100.0	4 3.5	73 64.0	37 32.5	0 0.0
60歳以上	213 100.0	1 0.5	128 60.1	80 37.5	4 1.9
無回答	0 100.0				

問16コロナ禍での生活の変化【中食の頻度】

性別	調査数	増えた	減った	変化なし	無回答
全 体	1015 100.0	215 21.2	105 10.3	683 67.3	12 1.2
男	325 100.0	69 21.2	31 9.5	224 68.9	1 0.3
女	690 100.0	146 21.2	74 10.7	459 66.5	11 1.6
無回答	0 100.0				

年代

全 体	1015 100.0	215 21.2	105 10.3	683 67.3	12 1.2
20歳代	96 100.0	26 27.1	9 9.4	58 60.4	3 3.1
30歳代	188 100.0	55 29.3	17 9.0	114 60.6	2 1.1
40歳代	204 100.0	52 25.5	26 12.7	124 60.8	2 1.0
50歳代	193 100.0	43 22.3	13 6.7	137 71.0	0 0.0
60歳以上	334 100.0	39 11.7	40 12.0	250 74.9	5 1.5
無回答	0 100.0				

* 性・年代

全 体	1015 100.0	215 21.2	105 10.3	683 67.3	12 1.2
男 20歳代	23 100.0	6 26.1	2 8.7	15 65.2	0 0.0
30歳代	31 100.0	8 25.8	3 9.7	20 64.5	0 0.0
40歳代	71 100.0	20 28.2	7 9.9	44 62.0	0 0.0
50歳代	79 100.0	18 22.8	5 6.3	56 70.9	0 0.0
60歳以上	121 100.0	17 14.0	14 11.6	89 73.6	1 0.8
女 20歳代	73 100.0	20 27.4	7 9.6	43 58.9	3 4.1
30歳代	157 100.0	47 29.9	14 8.9	94 59.9	2 1.3
40歳代	133 100.0	32 24.1	19 14.3	80 60.2	2 1.5
50歳代	114 100.0	25 21.9	8 7.0	81 71.1	0 0.0
60歳以上	213 100.0	22 10.3	26 12.2	161 75.6	4 1.9
無回答	0 100.0				

丹波市食育推進計画(第3次)「中間評価のためのアンケート調査 <一般用> ~基本属性別クロス集計結果~

問16コロナ禍での生活の変化【自炊の頻度】

性別

	調査数	増えた	減った	変化なし	無回答
全 体	1015 100.0	308 30.3	32 3.2	663 65.3	12 1.2
男	325 100.0	84 25.8	17 5.2	223 68.6	1 0.3
女	690 100.0	224 32.5	15 2.2	440 63.8	11 1.6
無回答	0 100.0				

年代

全 体	1015 100.0	308 30.3	32 3.2	663 65.3	12 1.2
20歳代	96 100.0	35 36.5	5 5.2	53 55.2	3 3.1
30歳代	188 100.0	75 39.9	4 2.1	107 56.9	2 1.1
40歳代	204 100.0	72 35.3	8 3.9	122 59.8	2 1.0
50歳代	193 100.0	60 31.1	7 3.6	126 65.3	0 0.0
60歳以上	334 100.0	66 19.8	8 2.4	255 76.3	5 1.5
無回答	0 100.0				

* 性・年代

全 体	1015 100.0	308 30.3	32 3.2	663 65.3	12 1.2
男 20歳代	23 100.0	7 30.4	2 8.7	14 60.9	0 0.0
30歳代	31 100.0	8 25.8	1 3.2	22 71.0	0 0.0
40歳代	71 100.0	22 31.0	3 4.2	46 64.8	0 0.0
50歳代	79 100.0	22 27.8	5 6.3	52 65.8	0 0.0
60歳以上	121 100.0	25 20.7	6 5.0	89 73.6	1 0.8
女 20歳代	73 100.0	28 38.4	3 4.1	39 53.4	3 4.1
30歳代	157 100.0	67 42.7	3 1.9	85 54.1	2 1.3
40歳代	133 100.0	50 37.6	5 3.8	76 48.4	2 1.5
50歳代	114 100.0	38 33.3	2 1.8	74 64.9	0 0.0
60歳以上	213 100.0	41 19.2	2 0.9	166 77.9	4 1.9
無回答	0 100.0				

問16コロナ禍での生活の変化【家族との共食の頻度】

性別

	調査数	増えた	減った	変化なし	無回答
全 体	1015 100.0	225 22.2	36 3.5	741 73.0	13 1.3
男	325 100.0	72 22.2	19 5.8	233 71.7	1 0.3
女	690 100.0	153 22.2	17 2.5	508 73.6	12 1.7
無回答	0 100.0				

年代

全 体	1015 100.0	225 22.2	36 3.5	741 73.0	13 1.3
20歳代	96 100.0	30 31.3	3 3.1	60 62.5	3 3.1
30歳代	188 100.0	56 29.8	4 2.1	126 67.0	2 1.1
40歳代	204 100.0	56 27.5	6 2.9	140 68.6	2 1.0
50歳代	193 100.0	39 20.2	4 2.1	150 77.7	0 0.0
60歳以上	334 100.0	44 13.2	19 5.7	265 79.3	6 1.8
無回答	0 100.0				

* 性・年代

全 体	1015 100.0	225 22.2	36 3.5	741 73.0	13 1.3
男 20歳代	23 100.0	6 26.1	2 8.7	15 65.2	0 0.0
30歳代	31 100.0	8 25.8	1 3.2	22 71.0	0 0.0
40歳代	71 100.0	21 29.6	1 1.4	49 69.0	0 0.0
50歳代	79 100.0	19 24.1	4 5.1	56 70.9	0 0.0
60歳以上	121 100.0	18 14.9	11 9.1	91 75.2	1 0.8
女 20歳代	73 100.0	24 32.9	1 1.4	45 61.6	3 4.1
30歳代	157 100.0	48 30.6	3 1.9	104 66.2	2 1.3
40歳代	133 100.0	35 26.3	5 3.8	91 68.4	2 1.5
50歳代	114 100.0	20 17.5	0 0.0	94 82.5	0 0.0
60歳以上	213 100.0	26 12.2	8 3.8	174 81.7	5 2.3
無回答	0 100.0				

「丹波市食育推進計画（第3次）」中間評価のための アンケート調査

< 高校生 >

～ 基本属性別クロス集計結果～

丹波市食育推進計画(第3次)「中間評価のためのアンケート調査」＜高校生用＞ ～基本属性別クロス集計結果～

* B M I
性別

	調査数	やせ	普通体重	肥満	無回答
全 体	282 100.0	72 25.5	191 67.7	13 4.6	6 2.1
男	124 100.0	39 31.5	80 64.5	4 3.2	1 0.8
女	153 100.0	32 20.9	107 69.9	9 5.9	5 3.3
その他	5 100.0	1 20.0	4 80.0	0 0	0 0
無回答	- -	- -	- -	- -	- -

調査数	平均
276 100.0	20.4
123 44.6	20.2
148 53.6	20.6
5 1.8	19.8
- -	- -

丹波市食育推進計画(第3次)「中間評価のためのアンケート調査 <高校生用> ~基本属性別クロス集計結果~

問4 朝食の摂取状況

性別

	調査数	必ず毎日食べる	い週に1〜2日食べない	い週に3〜4日食べない	ほとんど食べない	無回答
全 体	282 100.0	216 76.6	41 14.5	14 5.0	11 3.9	- -
男	124 100.0	99 79.8	14 11.3	5 4.0	6 4.8	- -
女	153 100.0	113 73.9	27 17.6	8 5.2	5 3.3	- -
その他	5 100.0	4 80.0	- -	1 20.0	- -	- -
無回答	- -	- -	- -	- -	- -	- -

問5 朝食を食べない理由(複数回答) 朝食を食べないことがあると回答した66名

性別

	調査数	から食欲がない	いたもいつから寝て	いの準備で度忙など	いがかさ朝食の準備	いか太りたくな	がな食いべから習慣	その他	無回答
全 体	66 100.0	24 36.4	27 40.9	34 51.5	7 10.6	2 3.0	13 19.7	4 6.1	- -
男	25 100.0	8 32.0	9 36.0	13 52.0	1 4.0	0 0.0	8 32.0	2 8.0	- -
女	40 100.0	15 37.5	18 45.0	21 52.5	6 15.0	2 5.0	5 12.5	2 5.0	- -
その他	1 100.0	1 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
無回答	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -

丹波市食育推進計画(第3次)「中間評価のためのアンケート調査」＜高校生用＞ ～基本属性別クロス集計結果～

問6 料理や食事の手伝い
性別

	調査数	している	ときどきする	していない	無回答
全 体	282 100.0	80 28.4	149 52.8	53 18.8	- -
男	124 100.0	24 19.4	67 54.0	33 26.6	- -
女	153 100.0	54 35.3	79 51.6	20 13.1	- -
その他	5 100.0	2 40.0	3 60.0	- -	- -
無回答	- -	- -	- -	- -	- -

問7 自分でごはんを炊くこと
性別

	調査数	できる	できない	無回答
全 体	282 100.0	242 85.8	39 13.8	1 0.4
男	124 100.0	104 83.9	20 16.1	- -
女	153 100.0	134 87.6	19 12.4	- -
その他	5 100.0	4 80.0	- -	1 20.0
無回答	- -	- -	- -	- -

問8 自分でみそ汁を作ること
性別

	調査数	できる	できない	無回答
全 体	282 100.0	214 75.9	68 24.1	- -
男	124 100.0	86 69.4	38 30.6	- -
女	153 100.0	124 81.0	29 19.0	- -
その他	5 100.0	4 80.0	1 20.0	- -
無回答	- -	- -	- -	- -

丹波市食育推進計画(第3次)「中間評価のためのアンケート調査 <高校生用> ~基本属性別クロス集計結果~

問9 栄養バランスを考えた食品選び(主食・主菜・副菜の組み合わせ)

性別

	調査数	いつも考えている	ときどき考える	考えない	無回答
全 体	282 100.0	27 9.6	160 56.7	94 33.3	1 0.4
男	124 100.0	10 8.1	64 56.1	50 40.3	- -
女	153 100.0	17 11.1	92 60.1	43 28.1	1 0.7
その他	5 100.0	-	4 80.8	1 20.0	- -
無回答	- -	- -	- -	- -	- -

問10 食品購入時や外食時に栄養成分表示を参考にする

性別

	調査数	いつも参考にしている	ときどき参考にしている	あまり参考にしない	参考にしていない	無回答
全 体	282 100.0	13 4.6	79 28.0	93 33.0	93 33.0	4 1.4
男	124 100.0	2 -	27 34.4	49 21.9	16 43.8	- -
女	153 100.0	11 7.2	52 34.0	41 26.8	45 29.4	4 2.6
その他	5 100.0	-	-	3 60.0	2 40.0	- -
無回答	- -	- -	- -	- -	- -	- -

丹波市食育推進計画(第3次)「中間評価のためのアンケート調査 <高校生用> ~基本属性別クロス集計結果~

問11 自分の適正体重の認知度と状態
性別

	調査数	知っているし、維持	でき知っているが、維持	知らない	無回答
全 体	282 100.0	35 12.4	70 24.8	144 51.1	33 11.7
男	124 100.0	20 16.1	33 26.6	70 56.5	1 0.8
女	153 100.0	14 9.2	35 22.9	72 47.1	32 6.3
その他	5 100.0	1 20.0	2 40.0	2 40.0	- -
無回答	- -	- -	- -	- -	- -

問12 今よりも痩せたいと思う
性別

	調査数	そう思う	少しそう思う	思わない	無回答
全 体	282 100.0	115 40.8	51 18.1	115 40.8	1 0.4
男	124 100.0	21 16.9	19 15.3	84 67.7	- -
女	153 100.0	92 60.1	30 19.6	30 19.6	1 0.7
その他	5 100.0	2 40.0	2 40.0	1 20.0	- -
無回答	- -	- -	- -	- -	- -

丹波市食育推進計画（第3次）

＜施策の取り組み状況調査＞

1. 生涯にわたる健全な食生活の実践

1) 食を通じた子どもの健全育成

(1) 健やかな発育と望ましい食習慣の定着（乳幼児期・学童期・思春期）

R2実績調べ実施なし

番号	事業名等	事業概要(内容)	担当課	H30	H31	令和3年度の取組み		令和4年度以降の予定		備 考
				実績	実績	実績	評価・課題	方向性	取組方法等	
①	乳幼児健康診査等での栄養相談・個別指導	●乳幼児とその保護者を対象に栄養相談を実施します。（4か月児、10か月児相談、1歳6か月児、3歳児、すくすく相談）	健康課	全数対象に個別相談	全数対象に個別相談	全数対象に個別相談	●食を通じて児の健やかな発育を支援するとともに、朝食をはじめとする望ましい食習慣の定着に向けて指導を実施した。	継続	●児の健やかな発育のため食環境改善を目指して、それぞれの状況に応じて個別指導を実施する。	
②	離乳食教室	●保護者を対象に、発達に応じた離乳食の進め方教室（5か月児ゴックン、7、8か月児モグモグ）を実施します。	健康課	ゴックン：199人/12回 モグモグ：163人/12回	ゴックン：203人/12回 モグモグ：122人/11回	ゴックン：128人/12回 モグモグ：76人/12回	●離乳食の基本と調理方法を講話と調理実演で示すことで離乳食作りの不安を軽減、量や形状を実物で示すことで理解ができたとの感想を得ているが、R2・3年度は新型コロナにより一時事業の中止・縮小、参加控えが生じ大きく参加率低下。R3試食は中止し、2部制にするなど、感染防止を講じての実施に努めた。離乳食の作り方動画をHPで公開中。	継続	●感染防止対策を講じて継続実施。第一子の保護者を中心に参加呼びかける。 ●4か月児健診において、離乳食支援強化。	
		●子育て学習センターで自主活動に取り組む子育てグループの支援として、月齢に応じた離乳食の進め方教室を行います。	子育て支援課	4センターで実施	3センターで実施	3センターで実施	●食についての講話や月齢に応じた離乳食の進め方などについての教室を開催。離乳食に関する疑問や不安を解消することができた。また、七草がゆなど行事食、伝統食を学ぶこともできた。子育て支援グループなどの協力を得て、開催した教室もあった。	継続	●子育て学習センターの事業及び、自主活動に取り組む子育てグループの支援として、月齢に応じた離乳食の進め方教室を行います。	
③	幼児食育教室	●認定こども園へ通う4歳児とその保護者を対象に、栄養士を派遣して望ましい食習慣の定着を目指した食育教室を実施します。	健康課	10園/13園中 児336人 保護者284人	11園/13園中 児402人 保護者305人	1園/13園中 児47人 保護者43人	●「早起き・おひさま・朝ごはん」をテーマに朝食習慣の定着及び食事内容の充実を図る内容の親子向けプログラム。感染防止のためR2に引き続き開催自粛。 児童、保護者を2グループに分けて、少人数での開催が調整できた1園でのみの実施に留まった。	継続	●4歳・5歳児及びその保護者を対象に歯科&食育教室「楽しくおいしく食べて免疫力アップ!」。 食育テーマは生活・食事リズムの見直し（早起き・おひさま・朝ごはん）で実施再開。	
④	親子料理教室	●幼児・小学生とその保護者を対象に、望ましい食育を身につける体験型教室を実施します。	健康課 いずみ会	70人/2回	88人/3回	125人/7回	●「早起き・おひさま・あさごはん」のミニ講話とともに、親子クッキングを実施。食べ物に触れ、食への興味関心を高める機会となった。 ●苦手な食べ物が食べられた姿に喜ばれる保護者も多く、作って食べることの大切さや楽しさを体験できた。	継続	●「子育て世代食育教室」として継続実施。	
		●子育て学習センター、児童館において幼児・小学生とその保護者を対象に望ましい食育を身につける体験型教室を実施します。	子育て支援課	4センターで実施	6センターで実施	6センターで実施	●いずみ会などの協力を得て、料理教室や試食会を開催。親子で食に関する興味・関心を持つことができ、手作りする良さやおいしさを知ることでもできた。	継続	●子育て学習センター、児童館において幼児・小学生とその保護者を対象に望ましい食育を身につける体験型教室を実施します。	
⑤	生活習慣キャンペーン	●各認定こども園、小学校、中学校に朝ごはんの大切さ等の生活習慣改善啓発チラシを配布し、正しい生活習慣の定着を目指します。	子育て支援課	1月	1月	1月	●冬休み後の規則正しい生活習慣を子どもたちに促す啓発チラシを、各こども園・幼稚園、小中学校を通じ、子どもたちに配布し、正しい生活習慣の定着を目指した。	継続	●生活習慣の啓発は継続的に実施していくが、手法は見直すこととする。	

⑥	睡眠健康教室	●保健師が小学校へ出向いて、望ましい生活習慣の定着を目指し、児童に睡眠教育を行います。	健康課	79人/4校	71人/5校	158人/7校	●生活リズムを整えるには、朝の光と朝ごはんが大事であること、朝ごはんには糖質とたんぱく質をしっかりと摂って活動モードにスイッチを入れることを伝えている。就寝前の携帯・ゲーム等の使用の注意点も踏まえ上手なメディアとの付き合い方を伝えている。 ●また、自分の生活をふり返って目標設定し、宿題として学んだことを家庭で保護者と話をすることで、家庭での取り組みに繋がっている。	継続	●全校において実施済み→希望校で継続実施。 ●生活チェックの実施と睡眠教育。
⑦	小学生食育教室	●小学校5、6年生を対象にごはんとみそ汁を中心に、講話とバランスの良い和食を調理する体験型教室を実施します。	健康課 いずみ会	473人/12校	473人/15校	621人/18校	●ごはんとみそ汁教室 「朝ごはん」をテーマに小学5、6年生を中心に市内小学校で食育教室を実施した。 調理実習自粛の期間もあり、ごはんを炊き、お味噌汁を作る実習の実施は6クラスに留まったが、朝ごはんを食べることの大切さや和食への興味関心をむける機会となった。実習中止となった学校へは、R2年度に作成した調理動画やリーフレットを届け、家庭での実践を促す工夫をした。	継続	●ごはんとみそ汁を中心とした和食を調理して食べる体験型学習の継続。 ●「味覚」学習を加え、子どものころからの減塩教育を実施。
⑧	中学生食育教室	●中学2年生を対象に、講話と大納言小豆や旬の野菜を使ったバランスの良い和食を調理する体験型教室を実施します。	健康課 いずみ会	594人/7校	540人/7校	487人/7校	●R2に続き、調理実習は中止となったため、教室での講話と調理手順を動画にして、レシピとともに学校へ届けた。朝ごはんアンケートを実施して食生活の振り返りを実施した。 調理動画をみて家で作ってみたいと思ったとの感想を得た。	継続	●ご飯とみそ汁を中心とした健康的な和食1食分を調理体験し、バランスの良い食事の組み合わせと基本的な料理技術の取得を目指す。 上記内容で計画するが、感染症の状況を見ながら適宜実施可能な内容に修正して実施する。
⑨	共食(きょうしょく)の啓発	●家族や仲間と食卓を囲むことで、食を通じて望ましい食習慣の定着と人との交流の大切さを啓発します。	子育て支援課	通年	通年	通年	●食育教室において、家族と食卓を囲むことや食を通じて人との交流の大切さを伝えることができた。	継続	●子育て学習センター・児童館で食育教室を行い、引き続き啓発する。
			学校教育課	全幼・小・中学校	全小・中学校	全小・中学校	●給食の時間や、校内放送、食育講話、食に関する授業を通して食習慣の定着を図るとともに、コロナ禍においての食生活のあり方を含め、食の大切さを啓発した。	継続	●全小・中学校で引き続き啓発する。
			学事課	通年	通年	通年	●友だちや先生と給食と一緒に食べることで、誰かと一緒に食事をすることの大切さを啓発した。	継続	●学校給食を通して、児童・生徒に共食の大切さを引き続き啓発する。
			健康課	通年	通年	通年	●乳幼児健診や広報、庁内掲示板、食育教室等で、共食の大切さを啓発した。	継続	●乳幼児健診において離乳期から共食の大切さを啓発する。

(2) 認定こども園における食育の推進

番号	事業名等	事業概要(内容)	担当課	H30	H31	令和3年度の取組み		令和4年度以降の予定		備 考
				実績	実績	実績	評価・課題	方向性	取組方法等	
①	園だより・給食だよりでの啓発活動	●給食の献立内容や素材、おやつなどを保護者に伝え、食育について啓発します。	子育て支援課各園	通年	通年	通年	●給食だよりを配布し、給食の献立や簡単にできるメニューを紹介したり、給食を食べる様子などをネットで啓発した。様々な食材とのふれあいや栽培活動を通じて、食に関する体験を通じて、食育について関心を持ってもらえる活動ができた。	継続	●園だよりや、給食だよりを活用し、生きるために食の大切さを伝える取り組みなど、今後も継続的な実施を働きかける。	

②	栄養バランスを考えた給食の提供	●栄養バランスを考えた給食で、健やかな成長や健康保持増進を図ります。	各園	通年	通年	通年	●栄養バランスを考えた給食を工夫し、出来る限り国内産の物を使用したり、地域の方からいただいた旬の食材(旬・よもぎなど)を給食やおやつに取り入れるなど、健やかな成長と健康保持増進を図った。	継続	●園庭栽培により、園児が自分たちで育て、その野菜を食べることを通じて、好き嫌いのない健全な食生活の実施や、食べることを楽しむ子どもに成長できるよう、今後も継続的な実施を働きかける。
③	給食・食育参観及び給食試食会	●給食(食育)参観日や試食会を通じ、保護者に各園の給食の献立や食育の情報提供をしたり、各家庭の食生活を見直していただく機会とします。	各園	通年	通年	通年	●コロナ禍でもあり、園給食の献立の量・味付け、食べている様子等を保護者に、ネット等で配信した。また、月1回管理栄養士による食材ウォッチングなどを通して、食について色々なことを伝えていく機会を作った。(食材・調味料・調理用具、魚の開き方など)	継続	●参観日に、給食試食会や、親子クッキング教室などを開催して、園児と一緒に作ることの楽しさを通じて、家庭での食生活の見直していただく機会にするなど、今後も継続的な実施を働きかける。
④	給食時における給食指導	●給食の準備・後片付けを通し、食事のマナーを伝えたり生産者等への感謝の気持ちを抱かせるなどの指導を行います。	各園	通年	通年	通年	●食器の持ち方やおはしの使い方等を指導したり、園だよりにて親にも啓発できた。また苦手なものを少しでも食べられるように励まし、間を置かず家庭で食卓に出していただくように促し、食べることができたという自信につながられた。また、行事食など、楽しく食べられるよう工夫した。	継続	●給食の前に調理師・栄養士による食材の説明や、生産者の思い、食材の成長の過程などを知る取り組みを通じて、食への感謝の気持ちを伝えるなど、今後も継続的な実施を働きかける。
⑤	メニュー当番活動	●毎日の献立をメニューボードに掲示し、園児や保護者に今日の給食の献立や食材を伝えます。	各園	通年	通年	通年	●参観日に給食メニューボードを設置し、園児や保護者に今日の給食や食材を知らせ、保護者に関心を持って見てもらえた。また、保護者から園児が給食を食べる様子の配信や、メニューだけでなく目で見えるように工夫してほしいとの意見から、給食の提供内容をネットで配信するなど工夫できた。	継続	●季節を感じる食材や旬の食材を、給食に取り入れ、保護者に適切な食事の摂り方や望ましい食習慣の定着が図れるよう、メニュー等での啓発を機に継続して実施を働きかける。

(3) 学校における食育の推進

番号	事業名等	事業概要(内容)	担当課	H30	H31	令和3年度の取組み		令和4年度以降の予定		備考
				実績	実績	実績	評価・課題	方向性	取組方法等	
①	栄養バランスを考えた給食の提供	●栄養バランスを考えた給食で健康保持増進を図る「食育の日」を設定し、和食の良さを伝える献立を取り入れます。	教育総務課	通年	通年	通年	●児童・生徒に食に関心を持ってもらえるよう、月1回の「食育の日」に趣向を凝らした給食メニューを提供した。	継続	●「食育の日」のメニューや内容を給食だよりや給食時間の放送のおたより等で取り上げ、児童・生徒に食育の日の意識付けを行う。	
②	給食時間における食育	●今日の献立のねらい、地元野菜やその生産者の名前を伝えたり、栄養講話や食事マナーについても、放送や掲示資料で伝えます。	教育総務課 各学校	随時	随時	随時	●週刊でランチタイムを発行し、その日の給食に関する情報を掲載することにより、食への知識・関心を高めた。	継続	●週刊でランチタイムを発行し、その日の給食に関する情報を掲載することにより、食への知識・関心を高める。	資料添付
③	スクールランチの発行・配布	●学校給食の食材や食を通した健康づくりの知識等を掲載し、配布します。	教育総務課	毎月発行・配布	毎月発行・配布	毎月発行・配布	●食に関する知識や情報を掲載した「スクールランチ」を毎月の献立表の裏面に掲載し、食への関心を高めた。	継続	●食に関する知識や情報を掲載した「スクールランチ」を配布し、食への関心を高める。	資料添付
④	学校給食レシピ集の配布	●家庭の献立にも加えてほしい学校給食レシピを配布します。 ●市ホームページにも掲載します。	教育総務課	H30年3月に配布及び市HP掲載	R2年3月に配布及び市HP掲載	R4年3月に配布及び市HP掲載	●学校給食レシピ集を家庭に配布、また市HPに掲載し、情報発信を行った。	継続	●食に関する知識や情報を提供し、食への関心を高めるため、児童・生徒の家庭に給食レシピ集を配布し、市HPにも掲載する。 ●SNSを活用した情報発信を行う。	
⑤	給食連絡ノートの交換	●各学校と学校給食センターを連絡ノートでつなぎます。	教育総務課	随時	随時	随時	●子どもの嗜好や給食時間の様子を把握し、献立作成に活用した。	継続	●子どもの嗜好や給食時間の様子の把握と、献立作成に活用する。	

⑥	給食時間における訪問指導	●給食時に栄養教諭が訪問し、講話のほかに児童・生徒と給食の準備・会食・後片付けを行い、栄養のバランスや食事のマナーについても指導します。	教育総務課 各学校	随時	随時	随時	●栄養教諭による講話や巡回指導を実施し、食への関心を高めた。	継続	●給食時間における栄養教諭による食育巡回指導を継続して行う。
⑦	学校教育活動を通じた食育	●教科の中で、食育に関する内容や教材を位置づけた「ちよこっと食育」授業を行います。	各学校	随時	随時	随時	●全学校において、食に関する指導計画をもとに、食育の学びを深めた。	継続	●教育活動全体を通して学校全体で食育推進に取り組む。
⑧	食に関する授業	●教科・学級活動における食に関する指導を行います。	各学校	随時	随時	随時	●教科と関連付けた食育授業や栄養教諭による「食に関する授業」に取り組むことができた。	継続	●給食指導や教科指導、栄養教諭による指導等による食育に取り組み、充実を図る。
⑨	給食参観及び試食会	●給食参観や試食会を通じ、学校給食をより深く理解してもらうとともに、家庭の食生活を見直していただく機会とします。	各学校	随時	随時	随時	●コロナ関連による中止も含め、ほとんどの学校が実施できなかった。給食参観、試食会の内容そのものを見直し、給食通信や食育啓発資料の配布等、情報提供に努め、食育に関する取組への理解を広めた。	縮小	●理解が深まるよう情報提供の方法を検討し、取り組む。
⑩	食育展示	●参観日、文化祭において食育についてへの取組や情報を提供します。	各学校	随時	随時	随時	●コロナの状況により、来校の伴う取組については見直しが必要となった。通信等による情報発信により理解を広めた。	継続	●食育に関する取組を展示に限らず、通信等、さまざまな方法で提供し、理解を広める。
⑪	給食センターでのトライやるの受入れ	●学校給食の概要、衛生管理、給食物資の検収、給食調理作業、洗浄作業等の体験学習をします。	教育総務課	春日3名 柏原・氷上3名	春日4名 柏原・氷上3名	春日2名 柏原・氷上2名	●11月実施のトライやるウィークにおいて、2センターで4名の生徒を受け入れ、給食を作る側の立場を体験することにより、給食への関心を高めた。	継続	●トライやるウィークにおいて、市内の各センターで数名の受入れをする。
⑫	学校給食センターの施設見学	●保護者を対象に学校給食センターで働く職員の様子や施設設備の見学会を実施します。	教育総務課	子育て学習センター 氷上15名 柏原11名	柏原・氷上 保護者・児童62名	-	-	-	-

(4) 歯科保健活動における食育の推進

番号	事業名等	事業概要(内容)	担当課	H30	H31	令和3年度の実組み		令和4年度以降の予定		備 考
				実績	実績	実績	評価・課題	方向性	取組方法等	
①	乳幼児健診等における歯科指導・相談	●1歳6か月児健診、3歳児健診において歯科診察、歯科衛生士による歯科指導及び10か月児相談において歯科相談を実施します。	健康課	健診受診者全数	健診受診者全数	健診受診者全数	●歯科診察及び歯科衛生士による個別指導の実施により、口腔ケア方法や生活習慣を見直す機会になっている。	継続	●歯科診察及び歯科衛生士による個別指導実施の継続。	
②	5歳児歯科教室	●5歳児及び保護者を対象に、各園へ歯科衛生士を派遣して歯予防及びよく噛むことの大切さ等を伝える教室を実施します。	健康課	13園/13園中 児484人 保護者444人	12園/13園中 児436人 保護者355人	実施自粛	●ブラッシング、染め出し、仕上げ磨きの実習による教室のため実施自粛した。	継続	●市内全園に資料による情報提供を行う ●4歳児・5歳児の保護者を対象に、歯科&食育教室として再開。実習を実施せず講義形式とする。	
③	歯科指導者研修会	●こども園職員や歯科衛生士等を対象に、歯科保健に関する研修会を開催します。	健康課	25名 11施設	29名 13施設	実施自粛	●新型コロナウイルス感染防止のため実施を見合わせた	継続	●こども園、母子保健に関わるスタッフ等を対象とした学習会（検討会）の実施を検討	
④	学校歯科保健指導	●子どもの歯予防及び「生きる力」や「食べる力」を育む歯・口の健康づくりのため、健診や保健指導を実施します。	教育総務課	全学年	各小学校	歯科健診： 全小・中学校 はみがき指導： 11校/29校中	●歯科医や歯科衛生士による歯科健診の実施及びはみがき指導を実施した。	継続	●歯科健診の実施及びはみがき指導を実施。	

2) 健康寿命の延伸をめざした食の健康づくりの推進

(1) 次世代を担う(若い世代)食育の推進(15～30歳代)

番号	具体的施策(事業)	事業の概要(内容)	担当課	H30	H31	令和3年度の実績		令和4年度以降の予定		備考
				実績	実績	実績	評価・課題	方向性	取組方法等	
①	高校生食育講座	●食の自立を目指して、市内高校へ栄養士が出向き、栄養学習と調理実習を実施する講座を実施します。	健康課	氷上・氷上西・柏原高校	氷上・氷上西・柏原高校	氷上高校116人/5回	●事前アンケートの状況を踏まえながら食の知識を深め健康的な食生活の実践につながるよう、学校と連携し、食育講座が実施できた。H31年まで市内3校での実施を継続していたが新型コロナの影響によりR3年度は1校にとどまった。	継続	●食の健康課題の多い世代であり、感染状況を見ながら今後も継続。調理実習によらない実施方法を検討する。	
②	乳幼児をもつ保護者への食の啓発	●母子保健事業において、乳幼児をもつ保護者への食啓発及び食生活アンケートを実施します。	健康課	3歳児健診保護者にアンケート実施	3歳児健診保護者にアンケート実施	3歳児健診保護者にアンケート実施	●アンケート結果(経年)をみると、保護者が朝食を毎日食べる割合は減少傾向にあり、朝食を食べない日があっても他の食事で補えばよいと思う割合が増加するなど、食意識の変化(悪化)が見られる。	継続	●食意識の変化がみられる現状を踏まえ、ライフステージや個々に応じた実施可能な望ましい食行動を啓発していく。	
③	巡回食育教室(再掲)	●認定こども園へ通う児とその保護者を対象に、栄養士を派遣して望ましい食習慣の定着を目指した食育教室を実施します。	健康課	10園/13園中児336人保護者284人	11園/13園中児402人保護者305人	1園/13園中児47人保護者43人	●「早起き・おひさま・朝ごはん」をテーマに朝食習慣の定着及び食事内容の充実を図る内容の親子向けプログラム。感染防止のためR2に引き続き開催自粛。児童、保護者を2グループに分けて、少人数での開催が調整できた1園でのみの実施に留まった。	継続	●4歳児・5歳児及びその保護者を対象に歯科&食育教室「楽しくおいしく食べて免疫力アップ!」。食育テーマは生活・食事リズムの見直し(早起き・おひさま・朝ごはん)で実施再開。	
④	妊婦歯周疾患検診	●妊婦を対象に、市内委託歯科医療機関において口腔内診査、歯周ポケット測定、指導を行います。	健康課	受診者数140人(32.3%)	受診者数121人(30.3%)	受診者数127人(33.9%)	●R2年度県受診率25.9%を上回っている	継続	●受診率向上を目指し、広報などで積極的な啓発を行う。	

(2) 生活習慣病予防、重症化予防(働き盛り)

番号	事業名等	事業概要(内容)	担当課	H30	H31	令和3年度の実績		令和4年度以降の予定		備考
				実績	実績	実績	評価・課題	方向性	取組方法等	
①	健康・栄養教室	●出前健康教室などで食を通じた健康教室を実施します。	健康課	667人/20回	585人/27回	62人/3回	●出前健康教室を通じて、食生活の振り返りや健康的な食生活の実践を促した。地区行事の自粛により実施数は減少	継続	●減塩指導を中心に、健康的な食生活の実践に向けたテーマで実施する。	
②	健康・栄養相談	●定例健康・栄養相談日や減塩相談日を開設し、保健師・栄養士による個別相談、随時相談を行います。	健康課	145人/42回(定例相談)	156人/38回(定例相談)	62人/35回(定例相談)	●栄養・食生活、病態別など個々に応じた健康・栄養相談を実施した。	継続	●健康・食の健康づくりのための相談、必要に応じて、血圧測定、尿検査、味噌汁の塩分測定実施。	
③	特定健診・特定保健指導	●メタボリックシンドロームの概念に着目した健診を実施し、健診後はメタボリックシンドロームの予防・解消を図るための保健指導を行います。	健康課	4,968人/36回(健診当日・結果説明会)	3,389人/35回(健診当日・結果説明会)	3,324人(巡回健診・ミルネ健診センター保健指導)	●自分の食生活を振り返り、健康的な食行動が実践できるよう支援した。 ●積極的支援において食事診断システム(SATシステム)による食事診断を実施。	継続	●健診当日他 個別に保健指導を実施。	
④	糖尿病、高血圧症等の生活習慣病発症予防	●生活習慣を改善し、健康的な生活習慣を身に付けるための教室を開催します。(74歳未満の特定健診受診者)	健康課	血管若返り教室(栄養教室)156人/8回	ヘルスアップ教室(栄養教室)77人/6回	健康セミナー(栄養教室)32人/6回	●R2年に引き続き、丹波医療センター/ミルネ診療所の総合診療科医師による講話を実施。高血圧、糖尿病をテーマにした講義に続き、調理実習により家庭での実践方法を学ぶ。実習し実際に食べることで減塩ポイントが体感でき、行動につながった参加者が多かった。	継続	●健康セミナー(栄養教室) 3回×前期・後期	

⑤	糖尿病、高血圧等の生活習慣病重症化予防事業	●生活習慣病ハイリスク者、治療中断者、治療中で重症化の危険がある方に受診勧奨及び生活指導を実施します。	健康課	延301件	延428件	延377人	●個々に応じた相談や助言により、受診につなげ、医療と連携することで生活習慣病重症化の予防を図っている。	継続	●医療と連携し、面談等により個別に栄養指導等を実施し重症化を予防する。	
⑥	生活習慣病予防事業	●健康寿命の延伸に向けた健全な食生活を実践することを目的に、減塩や野菜摂取量増加のための取り組みを行います。	健康課 いずみ会	33人/3回	130人/8回	29人/2回	●減塩や野菜の摂取をテーマに、食の情報提供や、食生活チェックを行い、食生活を振返る機会となったが、実施回数は大きく減少した。	継続	●減塩・野菜摂取量の増加をテーマに調理実習を行うが、感染症の状況により資料配布による啓発など工夫して実施する。	
⑦	広報誌による食育啓発	●広報誌等で市民向けに簡単に作れるレシピの紹介や食育に関する情報を発信します。	健康課	1回/月	1回/月	1回/月	●「生活習慣病予防」をテーマにしたレシピと栄養コラムを広報「たんば」と市HPに連載。 ●情報誌TOWN TOWN に丹波市HP掲載のレシピを3回紙面に掲載。	継続	●広報・HP：たんば食育クッキング 前期テーマ「感染症に負けない！免疫力を高める食事」 後期テーマ「平時からの食の備え」	
⑧	節目歯周疾患検診	●40. 50. 60. 70歳の方（年度当初）を対象に、市内委託歯科医療機関において口腔内診査、歯周ポケット測定、指導を実施します。	健康課	年齢・受診者数 （受診率％） 40歳67人（8.3） 50歳69人（9.6） 60歳117人（12.7）	年齢・受診者数 （受診率％） 40歳60人（9.6） 50歳73人（9.2） 60歳107人（12.6）	年齢・受診者数 （受診率％） 40歳60人（8.7） 50歳95人（12.6） 60歳118人（14.7） 70歳128人（12.4）	●全体の受診率では県受診率1.8%より上回っているが、40歳（8.7%）の受診率が低い。	継続	●R2年度より助成対象に70歳（年度当初）を追加。	
⑨	歯や口腔の健康についての啓発	●健康教室や広報誌等で歯科定期健診の重要性を啓発します。	健康課	広報 歯科検診等	広報 歯科検診等	広報 歯科検診等	●広報誌などを活用して歯科検診の有効性についてPRを実施	拡充	●引き続き啓発する他、40歳の未受診者に向けた受診勧奨を検討。	

（３）高齢期の低栄養予防

番号	事業名等	事業概要(内容)	担当課	H30	H31	令和3年度の取組み		令和4年度以降の予定		備 考
				実績	実績	実績	評価・課題	方向性	取組方法等	
①	高齢者食生活改善教室	●低栄養状態になると要支援・要介護状態を招きやすくなることから、予防のための高齢者の食生活改善教室を実施します。	健康課 いずみ会	85人/6回	186人/10回	41人/3回	●地区老人会やふれあいサロンなどで、食育講話や、ミニ実習実による教室を実施。食事の組合わせや低栄養予防のため、たんばく質の副食等食事の大切さを啓発した。対話や調理実演、訪問等工夫しての実施となった。	継続	●高齢者を対象に、低栄養予防の食講話と低栄養予防の調理実習。感染症状況により実施方法は変更する。	
②	健康・栄養教室（再掲）	●出前健康教室など、食を通じた健康教室を実施します。	健康課	20回 （出前教室）	27回 （出前教室）	3回 （出前教室）	●出前健康教室を通して、健康的な食生活の実践を促した。	継続	●出前健康教室の継続実施。（フレイル予防について）	
		●定例健康・栄養相談日や減塩相談日を開設し、保健師・栄養士による個別相談、随時相談を行います。	健康課	145人/42回 （定例相談）	156人/38回 （定例相談）	62人/35回 （定例相談）	●栄養・食生活、病態別など個々に応じた健康・栄養相談を実施した。	継続	●必要に応じて血圧測定、尿検査、味噌汁の塩分濃度測定なども実施。（予約制）	
③	歯っぴー健診	●75歳以上の後期高齢者の方を対象に、市内委託歯科医療機関において、口腔機能や衛生状態を診査、指導します。（H29年度～）	市民課	受診者数 209人	受診者数 206人	受診者数 165人	●令和3年度の受診者数は165人、受診率は10.67%であった。	継続	●令和4年度より高齢者の保健事業と介護予防の一体的な事業として、歯科健診が必要と判断された方に対して新たに歯科口腔健康診査を実施。	

2. 丹波の恵みを活かした食文化の継承・地産地消の推進

1) 地産地消の推進

(1) 楽農生活の推進

R 2 実績調べ実施なし

番号	事業名等	事業概要(内容)	担当課	H30	H31	令和3年度の実績		令和4年度以降の予定		備 考
				実績	実績	実績	評価・課題	方向性	取組方法等	
①	交流事業（体験農園・市民農園）の推進	●農村の活性化と都市部との交流を目指し、リーダーとなる人材の育成や都市部住民との交流を深めながら「丹波ファン」の創出を図ります。	農林振興課	たんばルシェ 収穫体験 50人	たんばルシェ 小豆料理体験 90人	イベントはコロナ禍のため中止し、情報発信を実施	丹波市の特産＝”食”をテーマにしたInstagramフォトコンテストを開催し、多方面にその魅力を発信し、市内外から参加があった。	継続	農業・農村の価値や魅力を発信し、農村の活性化と都市との交流、リーダーとなる人材育成を目指す。	
②	農家レストラン、農家民宿	●都市部住民が余暇サービスの提供を受けることで農家の生活を体験でき、「丹波ファン」を獲得すると同時に農家所得の向上を図ります。	農林振興課	通年	通年	通年	●丹波ファンの獲得並びに農家所得の向上のため、民泊を推進した。	継続	●丹波ファンの獲得並びに農家所得の向上のため、民泊を推進する。	
③	「農」からの食文化と食育の推進	●伝統的な「農」と「食文化」を継承していくために、土づくりを基本とする安全・安心な農産物の生産・供給体制の構築と各地域の人材育成を図ります。	農林振興課	通年	通年	通年	●環境創造型農業の推進と畜産環境対策として、有機質堆肥の投入による土づくりを実践する者へ支援し人材育成を図った。	継続	●引き続き、環境創造型農業の推進と畜産環境対策として、有機質堆肥の投入による土づくりを実践する者への支援をし、人材育成を図る。	

(2) 直売所等への支援

番号	事業名等	事業概要(内容)	担当課	H30	H31	令和3年度の実績		令和4年度以降の予定		備 考
				実績	実績	実績	評価・課題	方向性	取組方法等	
①	地域直売所整備促進事業(直売施設等整備事業)	●生産者で構成されている組織等に、兵庫県産農産物の直売活動に必要な簡易施設及び備品の整備費等を支援し、地産地消を推進します。	農林振興課	通年	通年	通年	●市内直売所に事業紹介をした。	継続	●継続して市内直売所に事業紹介をする。	

(3) 米、野菜等地元食材を生かした取り組み

番号	事業名等	事業概要(内容)	担当課	H30	H31	令和3年度の実績		令和4年度以降の予定		備 考
				実績	実績	実績	評価・課題	方向性	取組方法等	
①	ごはんを中心とした日本型食生活の推進(おいしいごはんを食べよう)	●お米やごはんの大切さを伝え、みそ汁に地元農産物を活用した具だくさんみそ汁を作る取り組みを推進します。	健康課	随時	随時	随時	●健康教室・食育教室においてごはん食を中心とし、減塩や野菜摂取量の増加を目指した内容で実施した。	継続	●ごはん食を中心とした健康的な日本型の食生活の実践を目指した健康教育、食育教室の実施	
			教育総務課	随時	随時	随時	●毎月1回『食育の日』を設定し、和食の献立を提供することで和食の良さを伝えることができた。 ●また、スクールランチの学校給食週間号として、地元の特産物や地産地消、丹波市産食材を使用したレシピを配布。	継続	●毎月1回『食育の日』を設定し、和食の献立を提供することで和食の良さを伝える。 ●また、スクールランチの学校給食週間号として、地元の特産物や地産地消、丹波市産食材を使用したレシピを配布予定。	
		●お米やごはんを通じて、「将来の食糧確保」、「健康的な食生活」、「環境を守る」、「危機管理」をPRします。	農林振興課	随時	随時	随時	●窓口等でPRを実施した。	継続	●継続して窓口等でPRを実施する。	
②	認定こども園給食における地場産物の活用	●各園において、地域で作られた食材をできる限り使用し、子どもたちの豊かな味覚を育む給食づくりの取り組みを推進します。	子育て支援課各園	通年	通年	通年	●地場産の野菜を給食や行事食に取り入れる園が多数あり、黒豆や野菜の栽培、収穫体験や、おやつや給食に栗や黒豆を取り入れるなど地域の食材を活用することができた。	継続	●今後も継続的に実施を促進する。	

③	魅力ある丹波産食材支援事業	●全国学校給食週間にシカ肉を使ったメニューを提供し、子どもたちにシカ肉に慣れ親しんでもらう取り組みを推進します。	農林振興課	実績なし 新たなメニュー検討	2月	2月	シカ肉の食用の加工が難しく事業概要の一部変更をしていたが、シカ肉が提供できたため変更なしとする。 ●シカ肉を使った小中学校給食メニュー（1/26、1/28もみじカレー・麦飯）	継続	●給食センターと調整しながら、小中学校給食メニューにシカ肉やよし肉を取り入れる。	
④	丹波市学校給食用農産物生産者組織連絡協議会	●学校給食用農産物の生産・出荷促進、供給者間の連絡調整をすることにより、安定した地元農産物の提供・地産地消の推進を図ります。	農林振興課	2回/年	2回/年	1回/年	●協議会で作成された生産者の生産物のチェック表を有効活用した。	継続	●協議会で作成された生産者の生産物のチェック表を有効活用する。	
⑤	丹波市有機の里づくり推進協議会	●環境に優しい有機農業及び環境創造型農業を確立するための講習会を実施し、技術の向上を図り、有機農業への転換や新規参入者の受け入れ体制を整備し、有機農業の促進や普及啓発を図ります。	農林振興課	研修会3回 講演会1回	講演会1回	通年	●有機農業の促進や普及啓発を図った。※新型コロナの影響により講演会中止	継続	●講演会の開催など、有機農業の促進や普及啓発を図る。	

2) 食と「農」への理解促進

(1) 生産収穫体験および栽培体験による教育

番号	事業名等	事業概要(内容)	担当課	H30	H31	令和3年度の取組み		令和4年度以降の予定		備 考
				実績	実績	実績	評価・課題	方向性	取組方法等	
①	健やかな食育事業	●こども園等で、地域の自然と触れ合い、作物等の栽培や収穫からクッキングなどで、地域の食材に触れる体験を実施します。	子育て支援課	通年	通年	通年	●園児が野菜の栽培や収穫、その作物でのクッキング教室を行うことで、苦手な野菜も食べてみようと思える子どもがいたり、栽培から収穫まで体験することで、食べることへの関心を持つ活動につながることができた。	継続	地域の方と一緒に野菜を育てる活動を通じて、園児が食材に触れ、食への関心を持つことのできる機会を継続して実施する。	
②	生産収穫体験	●子育てグループに対し、さつま芋の苗の植え付け、黒豆の種まき等の栽培から収穫体験、収穫祭、収穫物を季節行事食に利用する調理実習を開催できるよう支援します。	子育て支援課	5月～11月	通年	通年	●子育てグループが、サツマイモの苗差し、黒豆の種まき、収穫を体験した。収穫した作物で、焼き芋大会をしたり、芋ご飯、黒豆ご飯等に調理したりして、素朴な味を楽しむことができた。	継続	●子育てグループに対し、さつま芋の苗の植え付け、黒豆の種まき、ミニトマト等の栽培から収穫体験、収穫祭、収穫物を季節行事食に利用する調理実習を開催できるよう支援します。	
③	食に関する指導（栽培・収穫体験）による食育活動の実施	●学校・園の学級園や農園を利用した栽培活動による教育活動を実施します。	学校教育課	栽培・収穫体験等の活動を実施している小・中学校の割合90.3%	栽培・収穫体験等の活動を実施している小・中学校の割合93.1%	一部実施を含め栽培・収穫体験等にかかわる活動を実施している小・中学校の割合96.5%	●コロナ禍にあり、取組を縮小したり、取組の一部（試食等）を自粛したりするなど、例年の活動は行えなかったが、感染対策を徹底しながら、できる範囲において、栽培活動、収穫体験活動の取組を進めることができた。	継続	●コロナ禍における方法を工夫する中で、栽培、収穫活動による食育活動を実施し、食育活動の充実を図る。	

3) 食文化の継承

(1) 家庭の味・食文化や郷土料理を伝える取り組み

番号	事業名等	事業概要(内容)	担当課	H30	H31	令和3年度の取組み		令和4年度以降の予定		備 考
				実績	実績	実績	評価・課題	方向性	取組方法等	
①	行事食・郷土料理教室	●旬の食材を使った料理や行事食、伝統食を学ぶ料理教室などを開催します。	健康課 いずみ会	39人/2回	147人/7回	125人/7回	●「子育て世代食育教室」として、主に親子クッキングを実施した。旬の食材を使った料理や行事食を親子でチャレンジし、楽しい時間を過ごされた。	継続	●子育て世代を対象に、行事食を中心に旬の食材を使った料理教室を実施する	
			子育て支援課	随時	随時	随時	●いずみ会や子育て支援グループ等と連携し、黒豆など地域の食材を用いた料理や月見だんごといった行事食の試食会を行った。さつま芋で、親子で簡単にできるおやつの作り方も学び、家庭でもやってみようと思えるようになった。	継続	●旬の食材を使った料理や行事食、伝統食を学ぶ料理教室を開催します。	

②	中学生食育教室 (再掲)	●中学2年生を対象に、講話と大納言小豆や旬の野菜を使ったバランスの良い和食を調理する体験型教室を実施します。	農林振興課 健康課 いずみ会	594人/7校	540人/7校	487人/7校	●丹波市産大納言小豆を使った実習を行うことで郷土の食材・食文化に触れ、理解を深めることを狙いに計画していたが、新型コロナの影響により、R2年度に続き実習は中止となった。 ●調理動画を作成して配布、動画QRコードを付けたリーフレット(レシピ)を作成し届けた。	継続	●ご飯とみそ汁を中心とした健康的な和食1食分を調理体験し、基本的な料理技術の取得を目指す。	
③	給食での郷土料理等の導入、理解促進	●学校給食等において、郷土料理や和食を中心としたメニューを提供します。	教育総務課	随時	随時	随時	●大納言小豆を使用した献立(11月ぜんざい・2月あんぱん) ●黒豆を使用した献立(10月黒豆の枝豆・1月黒豆ごはん・2月黒豆の炒り鶏) ●シカ肉を使用したもみじカレー(1月)	継続	●大納言小豆を使用した献立(4月赤飯・11月ぜんざい・12月小豆ごはん・1月フルーツあんみつ・2月あんぱん・3月赤飯) ●黒豆を使用した枝豆(4月黒豆のかき揚げ、12月黒豆サラダ、1月黒豆ごはん、2月黒豆の炒り鶏) ●シカ肉を使用したもみじカレー(1月)	
④	健やかな食育事業 (再掲)	●各園で、餅つきなど世代間交流を実施します。	子育て支援課	随時	随時	随時	●コロナ禍で地域の方と交流することが難しい中ではあったが、さつま芋の苗植えや、焼き芋大会など地域の方々と野菜作りを通じて、交流を持つことができた。	継続	●お米作り体験 ●夏野菜づくり ●さつま芋の苗植え	
⑤	給食での行事食の提供	●各園の給食等において、季節感を取り入れた献立を取り入れます。	各園	随時	随時	随時	●季節の行事食や郷土料理など和食文化の継承に努めている。	継続	●行事食 ●季節の献立	

(2) 食資源を活かした産業振興(特産物を活用した取り組み 他)

番号	事業名等	事業概要(内容)	担当課	H30	H31	令和3年度の取組み		令和4年度以降の予定		備 考
				実績	実績	実績	評価・課題	方向性	取組方法等	
①	丹波大納言小豆を使ったぜんざいフェア	●丹波市の地域財産である「大納言小豆」を丹波市内外に広く伝えます。	農林振興課	11月3日～ 2月18日	11月3日～ 2月18日	11月1日～ 2月18日	●市内29店舗が参加した。また、幅広い客層にぜんざいを味わってもらえるよう努めた。コロナ禍ではあったが食数、売上額を上げることができた。 ●課題:6年目を迎え、マンネリ化している。	継続	●課題を踏まえ、関係機関と協議しながら情報発信を行う。	
②	丹波大納言小豆を使った学校給食	●丹波市の地域財産である「大納言小豆」を未来の子どもたちに伝えることで、魅力や誇りを感じてもらえるようにします。	農林振興課	11月・2月	11月・2月	11月・12月・2月	●丹波大納言小豆を市内の小中学校の給食メニューに取り入れ、味わってもらうことで、大納言小豆の良さを伝える機会となった。 ●ぜんざい11月 ●小豆ごはん12月 ●あんこ2月	継続	●給食センターと調整しながら、丹波大納言小豆を市内の小中学校の給食メニューに取り入れ、味わってもらうことで大納言小豆の良さを伝える機会をつくる。	
③	都市との交流	●兵庫みどり公社「ひょうご楽農生活センター」のHPでグリーン・ツーリズムパス(都市農村交流パス)の紹介、情報提供を行います。	農林振興課	通年	通年	通年	●窓口等でPRを実施した。	継続	●継続し、情報発信を行う。	
④	特産情報発信事業	●丹波市の特産食材である有機野菜や新たなシカ肉等を、安全ヘルシー食材として観光にも活用できるよう情報発信します。	観光課	随時	随時	通年	●観光サイト「SaturdayTamba」で情報発信をしている。	継続	●来丹に繋がるよう効果的な情報発信を検討する。	
⑤	丹波市スイーツフェスティバル	●スターコンテンツを活用し、食品開発での成果発表の場として、フェスティバルを開催します。	観光課	10月28日 4,200人来場	10月27日 4,600人来場	—	●R2年度は新型コロナの影響により中止 ●実行委員会解散(R2年度末)			

⑥	丹の里活性化推進事業	●丹波市の特産物の知名度向上を図ります。	農林振興課	たんぱルシェ 2018 7/8、10/8、 11/17、1/13	たんぱルシェ 2019 10/14：5,000 人 1/12： 2,000人	魅力発信事業 通年	●R2より新型コロナの影響等により、魅力発信イベントは廃止とした。 ●丹波市の特産物の認知度向上・イメージアップ等を図るため、プロモーション動画を制作し、インスタグラムフォトコンテストを開催した。	継続	●丹波市の特産物の魅力を発信する。	
⑦	新規) 丹波大納言小豆を使った認定こども園の食農教育	●丹波市の地域財産である「大納言小豆」を未来の子どもたちに伝えることで、魅力や誇りを感じてもらえるようにします。	農林振興課	—	—	1月～3月	●丹波大納言小豆を市内の認定こども園の食育活動に取り入れてもらい、味わってもらうことで、大納言小豆の良さを伝える機会となつてきている。 ●目標2園のところ、7園の応募があった。 ●見たり、触ったり、食べたりと五感を使って楽しく体験できた。	継続	●認定こども園と調整しながら、丹波大納言小豆を市内の認定こども園に提供し、食農教育活動を取り入れてもらう。 ●見て、触って、味わってもらうことで大納言小豆の良さを伝える機会を作る。 ●令和4年度は、市内の認定こども園全園の実施を目指す。	
⑧	新規) 市民への丹波大納言小豆食文化推進活動	●市内で丹波大納言小豆を食べる文化の定着と小豆の特性の理解を深める取り組みを推進します。	農林振興課	—	—	随時	●丹波大納言小豆ブランド戦略会議（構成団体：市・県・JA・商工会・観光協会）にて、11月1日を「丹波大納言小豆の日」として制定した。	継続	●「丹波大納言小豆の日」（11月1日）の定着に向けてPR活動を実施する。	

3. 丹波市の「食育」を支えるひと・まちづくり

1) 食育推進の機運づくり・食育に関する情報発信

(1) 食育月間・食育の日の取り組み

R 2実績調べ実施なし

番号	事業名等	事業概要(内容)	担当課	H30	H31	令和3年度の実績		令和4年度以降の予定		備考
				実績	実績	実績	評価・課題	方向性	取組方法等	
①	食育月間	●「10月食育月間」の啓発をします。	食育推進チーム	10月1日～10月31日	10月1日～10月31日	10月1日～10月31日	●健康センターミルネロビー、第2庁舎において減塩と食事バランス、低栄養予防の食啓発を実施。子育て世代や、健診受診者、高齢者と幅広い層をターゲットに実施した。	継続	●10月食育月間に合わせて食育啓発等を実施する。	
②	毎月19日は食育の日	●家族や仲間と食卓を囲んで食事「共食(きょうしょく)」をすることを啓発します。 事業:栄養バランスを考えた給食の提供(再掲) ●「食育の日」和食の良さを伝える献立を給食に取り入れます。	食育推進チーム	12回	3回	3回	●広報「たんば」に啓発記事掲載、19日前後に職員掲示板(ガルーン)に19日食育の日の啓発記事を掲載した。	継続	●『19日は食育の日』家族や仲間との食事(共食)を啓発するとともに、市内の食育の取り組みを紹介する。	
			教育総務課	1回/月	1回/月	1回/月	●19日前後に「食育の日」に趣向を凝らした給食メニューを提供し、食への関心を促した。	継続	●「食育の日」のメニューや内容を給食だよりや給食時間の放送のおたより等で取り上げ、児童・生徒に食育の日の意識付けを行う。	
③	新規) 丹波大納言小豆の日(11月1日)	新規) 事業:市民への丹波大納言小豆食文化推進活動(再掲) ●「丹波大納言小豆の日(11/1)」を制定し啓発をします。	農林振興課	—	—	随時	●丹波大納言小豆ブランド戦略会議(構成団体:市・県・JA・商工会・観光協会)にて、11月1日を「丹波大納言小豆の日」として制定した。	継続	●「丹波大納言小豆の日」(11月1日)の定着に向けてPR活動を実施する。	

(2) 食育に関する情報発信

番号	事業名等	事業概要(内容)	担当課	H30	H31	令和3年度の実績		令和4年度以降の予定		備考
				実績	実績	実績	評価・課題	方向性	取組方法等	
①	食育フェア	●食育イベントを通じ、市民が食への関心を高め、食育実践に繋がるよう、啓発します。	食育推進チーム	PTCA大会&実践セミナー 講演 食育ブース230人	丹波医療センター&ミルネフェスタ 食育ブース251人	中止	●「早寝早起き朝ごはんフォーラム」において、食育ブースの設置を準備していたが、新型コロナ感染拡大によりフォーラムが中止となった。	継続	●市内イベントとコラボ実施することで、多くの市民に啓発を行う	
②	食育啓発事業	●広報誌や市ホームページを活用した食育情報を発信します。	健康課	1回/月	1回/月	1回/月	広報「たんば」に【たんば食育クッキング】レシピとコラムを連載した他、随時ホームページを更新した。	継続	●たんば食育クッキング(広報誌・ホームページ)	

2) 関係機関等との連携・協働による食育推進体制の充実

(1) 食育推進会議の開催

番号	事業名等	事業概要(内容)	担当課	H30	H31	令和3年度の取組み		令和4年度以降の予定		備 考
				実績	実績	実績	評価・課題	方向性	取組方法等	
①	食育推進チーム連絡会 (庁内会議)	●食育を推進している庁内関係部局による連絡会を開催します。	事務局：健康課	3回/年	1回/年	会議開催なし	●会議開催は見合わせた。	継続	●食育関係課と情報共有を図りながら推進する。 ●チーム連絡会は必要に応じて開催する。	
②	丹波市食育推進会議	●食育関係機関・団体・公募による市民から構成する食育推進会議において、計画策定や施策に関する審議を行う他、進捗状況の把握、確認を行います。	事務局：健康課	2回/年	2回/年	1回/年	●次期食育推進計画は、健康たんば21計画「栄養・食生活」に包括して策定。R2年度末で委員任期終了。両計画の一体的審議に向けて、R3年度は健康福祉推進協議会委員が食育推進会議委員を兼務。R4年度からの一体的審議について説明。	継続	●健康づくり推進協議会において、食育推進に関する協議・検討を行う。	

(2) 地域における食育実践者の連携強化

番号	事業名等	事業概要(内容)	担当課	H30	H31	令和3年度の取組み		令和4年度以降の予定		備 考
				実績	実績	実績	評価・課題	方向性	取組方法等	
①	食育フェア（再掲）	●食育イベントの開催などを通じ、食育のネットワークの強化を図ります。	食育推進チーム	PTCA大会 & 実践セミナー 講演 食育ブース 230人	丹波医療センター & ミルネフェスタ 食育ブース 251人	中止	●新型コロナウイルス拡大により、イベント中止	継続	●食育関係課・機関・団体とのネットワーク強化に繋がるよう、実施方法を検討する。	
②	地区組織の人材育成支援	●地域で食育活動を実践する団体の育成と支援を行います。	健康課	5回/年	5回/年	4回/年	●いずみ会会員研修会の実施。 ●会員減少が課題である。	継続	●食育課題を共有し、自らの健康づくり、地域での食育活動が展開できるよう研修会を開催する。	

(3) 園や学校の食育推進計画

番号	事業名等	事業概要(内容)	担当課	H30	H31	令和3年度の取組み		令和4年度以降の予定		備 考
				実績	実績	実績	評価・課題	方向性	取組方法等	
①	食育月間における食育の取り組み状況を調査する	●食育月間における食育の取り組み状況を調査します。	食育推進チーム	食育月間（6月、10月）取組調査	食育月間（6月、10月）取組調査	食育月間（6月、10月）取組調査	●食育関係機関・団体の食育の取り組みを把握した。	継続	●市内の食育の取り組み状況を共有し、今後の食育推進の充実に繋げる	
②	食育推進年間計画の状況調査	●認定こども園の食育活動計画を把握します。	子育て支援課	通年	通年	通年	●献立表や便りなどを通じ、各園の状況を把握してはいるが、「計画」の形で把握していない状況にある。	継続	●今後においても、献立表等での把握は可能だが、「計画」としての形で提出等していただくことは困難。	
③	食育年間計画・全体計画の見直し、作成	●各学校の食育年間計画と全体計画の見直しの作成、集約をします。	学校教育課	6月	6月	7月	●全小・中学校において、食育全体計画・年間計画の見直しを行い作成している。児童生徒の実態に応じた取組が行われていることを把握した。	継続	●各校の食育年間計画、全体計画の見直しについて周知するとともに、集約、確認を行い、食育の充実につなげる。	
④	食育推進状況アンケート調査	●栄養教諭を活用した食育事業の把握、学校、園の野菜・米栽培状況、給食会の実施状況等について実態把握を行います。	学校教育課	6月、10月	6月、10月	7月、10月	●アンケートの集約により、コロナ禍における感染対策や、各学校の食育推進状況や活動内容、学校独自の取組等、食育についての状況を把握することができた。	継続	●食育推進アンケートによる調査を実施し、実態を把握するとともに、コロナ感染対策等の取組についても把握する。	